

3.3.26	倒經；逆經	inverted menstruation	逆經		鼻血または嘔血など、月経期間中の膣以外の部位からの出血。
3.3.27		distending pain in the breasts during	經行乳房脹痛		月経期間前、期間中、期間後の乳房の脹または充満感および疼痛。
3.3.28		moodiness during	經行情志異常		各月経期間前後に発生する、鬱病、陰気、易刺激性およびその他の気分の変化。
3.3.29		vaginal discharge	帶下		(1)膣からの正常な分泌物。(2)膣からの分泌物を特徴とする疾患、白帯下と同義。
3.3.30		white vaginal discharge	白帯		(1)膣からの白みがかった分泌物。(2)膣からの白色分泌物を特徴とする疾患。
3.3.31		yellow vaginal discharge	黄帯		膣からの黄色がかった粘性のある分泌物。通常湿熱邪の存在を示す。
3.3.32	惡阻；妊娠惡阻	morning sickness	惡阻		妊娠初期の悪心、嘔吐。
3.3.32	惡阻；妊娠惡阻	morning sickness	妊娠惡阻		妊娠初期の悪心、嘔吐。
3.3.33	胞阻；妊娠腹痛	uterine obstruction	胞阻		妊娠中に起こる下腹部痛。通常、子宮血管中の気血の流れの妨害による。
3.3.33	胞阻；妊娠腹痛	uterine obstruction	妊娠腹痛		妊娠中に起こる下腹部痛。通常、子宮血管中の気血の流れの妨害による。
3.3.34		vaginal bleeding during pregnancy	胎漏		妊娠中の膣からの少量出血。間欠性であるが、腰痛、腹痛は伴わない。
3.3.35		threatened abortion	胎動不安		腰痛および腹痛、または少量の膣出血を伴う継続的な胎動。
3.3.36		habitual abortion	滑胎		3回以上連続した妊娠における自然流産。
3.3.37		early abortion	墮胎		妊娠第12週以内に発生する自然流産。
3.3.38		late abortion	小産		妊娠第12週の後～第27週に発生する自然流産。
3.3.39		pseudopregnancy	鬼胎		子宮内にブドウの房状の腫瘤を生じさせる異常妊娠。胎状奇胎を表す。
3.3.40	子滿；胎水腫滿	hydramnios	子滿		異常な腹部肥大、充満感、喘を起すもの。
3.3.40	子滿；胎水腫滿	hydramnios	胎水腫滿		異常な腹部肥大、充満感、喘を起すもの。
3.3.41	子腫；妊娠腫脹	pregnancy swelling	子腫		妊娠後期に発生する顔面および四肢の水腫。
3.3.41	子腫；妊娠腫脹	pregnancy swelling	妊娠腫脹		妊娠後期に発生する顔面および四肢の水腫。
3.3.42	子煩；妊娠心煩	pregnancy vexation	子煩		妊娠中に発生する鬱病または易刺激性。
3.3.42	子煩；妊娠心煩	pregnancy vexation	妊娠心煩		妊娠中に発生する鬱病または易刺激性。
3.3.43	子暈；妊娠眩暈	dizziness in pregnancy	子暈		妊娠中に発生する目昏を伴う浮動性めまいで、昏厥を伴うことすらある。妊娠性めまいと同義。
3.3.43	子暈；妊娠眩暈	dizziness in pregnancy	妊娠眩暈		妊娠中に発生する目昏を伴う浮動性めまいで、昏厥を伴うことすらある。妊娠性めまいと同義。
3.3.44	子懸；胎氣上逆	pregnancy suspension	子懸		妊娠中の腹部および喉頭の圧迫感で、喘および易刺激性を伴うことすらある。妊娠性苦悶感または胎気の上逆と同義。
3.3.44	子懸；胎氣上逆	pregnancy suspension	胎氣上逆		妊娠中の腹部および喉頭の圧迫感で、喘および易刺激性を伴うことすらある。妊娠性苦悶感または胎気の上逆と同義。
3.3.45	子癇；妊娠癇證	eclampsia of pregnancy	子癇		妊娠期または産褥期に発生する、抽搐および神昏の突発。頭痛および回転性めまいを伴う。
3.3.45	子癇；妊娠癇證	eclampsia of pregnancy	妊娠癇證		妊娠期または産褥期に発生する、抽搐および神昏の突発。頭痛および回転性めまいを伴う。
3.3.46	子嗽；妊娠咳嗽	cough during pregnancy	子嗽		妊娠中の持続性咳嗽。妊娠性咳嗽と同義。
3.3.46	子嗽；妊娠咳嗽	cough during pregnancy	妊娠咳嗽		妊娠中の持続性咳嗽。妊娠性咳嗽と同義。
3.3.47	子淋；妊娠小便淋痛	strangury of pregnancy	子淋		妊娠中の排尿困難および排尿痛。
3.3.47	子淋；妊娠小便淋痛	strangury of pregnancy	妊娠小便淋痛		妊娠中の排尿困難および排尿痛。
3.3.48		post-term pregnancy	過期不産		分娩予定日を超過した妊娠。
3.3.49	難産；産難	difficult delivery	難産		遅延分娩および難産。
3.3.49	難産；産難	difficult delivery	産難		遅延分娩および難産。
3.3.50	胞衣不下；息胞	retention of placenta	胞衣不下		出産後の胎盤の滞留。
3.3.50	胞衣不下；息胞	retention of placenta	息胞		出産後の胎盤の滞留。
3.3.51		dead fetus in the uterus	子死腹中		正常な妊娠期間を超えた、死胎の子宮内滞留。
3.3.52		lochia	惡露		産褥期の膣分泌物。
3.3.53		retention of the lochia	惡露不下		産後の膣分泌物の分泌不全。

3.3.54	悪露不絶; 悪露不止	persistent flow of the lochia	悪露不絶		産後3週間を超える、長期の悪露異常分泌。悪露過多と同義。
3.3.54	悪露不絶; 悪露不止	persistent flow of the lochia	悪露不止		産後3週間を超える、長期の悪露異常分泌。悪露過多と同義。
3.3.55		oligogalactia	缺乳		授乳期中の乳汁分泌不足。乳汁分泌不全と同義。
3.3.56	乳汁不行; 乳汁不通	agalactia	乳汁不行		産後の乳汁不分泌。
3.3.56	乳汁不行; 乳汁不通	agalactia	乳汁不通		産後の乳汁不分泌。
3.3.57	乳汁自出; 乳溢	galactorrhea	乳汁自出		授乳に無関係な乳汁の自然流出。
3.3.57	乳汁自出; 乳溢	galactorrhea	乳溢		授乳に無関係な乳汁の自然流出。
3.3.58		postpartum galactorrhea	産後乳汁自 出		産後の授乳に無関係な乳汁の自然流出。
3.3.59		infertility	不孕		受胎能の欠如。
3.3.60		lower abdominal mass (in woman)	腸覃		定期的な月経周期を伴う下腹部の腫瘍形成。
3.3.61		stony conglomeration	石癭		子宮内に形成される、石様に硬い腫瘍。
3.3.62		shifted bladder	轉胞		尿閉に付随する臍下部の急性疼痛を現す疾患。
3.3.63	陰挺; 陰脱	prolapse of the uterus	陰挺		子宮の下方偏位。膣口外に子宮全体が出ることすらある。
3.3.63	陰挺; 陰脱	prolapse of the uterus	陰脱		子宮の下方偏位。膣口外に子宮全体が出ることすらある。
3.3.64		pudendal itch	陰癢		女性外生殖器または膣の掻痒。
3.3.65		pudendal	陰腫		女性外生殖器の有痛性腫脹。
3.3.66		pudendal sore	陰瘡		女性外生殖器の瘡または潰瘍。
3.3.67		pudendal pain	陰痛		膣前庭部および膣口を含む、陰唇の疼痛。
3.3.68		vaginal flatus	陰吹		膣からの有音なガス排出。
3.3.69		hysteria	臆躁		鬱病を現す発作性精神疾患。明白な理由のない憂うつ、易刺激性、感情制御の欠如、啼泣衝動を伴う悲嘆、嘆息を現す。
3.4.0		Pediatrics	兒科; 小兒		
3.4.1	胎怯; 胎弱	fetal weakness	胎怯		先天性虚弱体質。
3.4.1	胎怯; 胎弱	fetal weakness	胎弱		先天性虚弱体質。
3.4.2		fetal heat	胎熱		胎児期の熱毒感受による、新生児に発生する熱発現を伴う疾患群。
3.4.3		depressed	囟陷		乳児の泉門沈下。
3.4.4		bulging fontanel	囟填		乳児の泉門の外側への腫脹。
3.4.5		growth fever	變蒸		小児の成長および発達による生理学的現象。
3.4.6	滯頭; 小兒 多涎	dribbling	滯頭		頬が濡れるほどの乳児の流涎。
3.4.6	滯頭; 小兒 多涎	dribbling	小兒多涎		頬が濡れるほどの乳児の流涎。
3.4.7		milk	溢乳		不適切な授乳による乳汁嘔吐。
3.4.8		neonatal cough	百晬内嗽		生後100日以内の乳児に起こる、痰を伴う咳嗽と喘。
3.4.9		infantile asthma	小兒哮喘		発作性努力呼吸を特徴とする小兒疾患で、喘鳴が付随する。
3.4.10		horse-spleen	馬脾風		突然の発作を伴う、小児の喘息および肺脹の重症例。
3.4.11		food accumulation	食積		胃および小腸での未消化食物の蓄積を特徴とする病的状態。腹脹および腹痛、嘔吐、泄瀉、厭食の原因となる。
3.4.12	疳; 疳癆	(infantile) malnutrition	疳		羸瘦および虚弱を伴う乳児の慢性的栄養疾患。
3.4.12	疳; 疳癆	(infantile) malnutrition	疳癆		羸瘦および虚弱を伴う乳児の慢性的栄養疾患。
3.4.13		mild (infantile) malnutrition	疳氣		初期の疳の軽度な症例。
3.4.14		mild (infantile) malnutrition with accumulation	疳積		中期の疳で、胃および小腸の食物蓄積および停滞を併存する。
3.4.15		T-shaped malnutrition	丁奚疳		衰弱したT字型体型を伴う、疳の重症例。
3.4.16		dryness (infantile)	乾疳		津血の乾を伴う、極度の病期の疳の症例。乾燥し萎縮した体の消耗を現す。
3.4.17		blood (infantile) malnutrition	血疳		血虚を現す疳の症例。
3.4.18	脾疳; 食疳	spleen (infantile) malnutrition	脾疳		湿熱の蓄積を伴う、脾および胃の衰弱による疳の症例。食疳と同義。
3.4.18	脾疳; 食疳	spleen (infantile) malnutrition	食疳		湿熱の蓄積を伴う、脾および胃の衰弱による疳の症例。脾疳と同義。
3.4.19	心疳; 驚疳	heart (infantile) malnutrition	心疳		心経の鬱熱を伴う、脾および胃の衰弱による疳の症例。驚疳と同義。
3.4.19	心疳; 驚疳	heart (infantile) malnutrition	驚疳		心経の鬱熱を伴う、脾および胃の衰弱による疳の症例。心疳と同義。
3.4.20	肝疳; 筋疳	liver (infantile) malnutrition	肝疳		肝経の鬱熱を伴う、脾および胃の衰弱による疳の症例。筋疳と同義。

3.4.20	肝疳：筋疳	liver (infantile) malnutrition	筋疳		肝経の鬱熱を伴う、脾および胃の衰弱による疳の症例。肝疳と同義。
3.4.21	肺疳：氣疳	lung (infantile) malnutrition	肺疳		肺を傷する鬱熱を伴う、脾および胃の衰弱による疳の症例。氣疳と同義。
3.4.21	肺疳：氣疳	lung (infantile) malnutrition	氣疳		肺を傷する鬱熱を伴う、脾および胃の衰弱による疳の症例。肺疳と同義。
3.4.22	腎疳：骨疳	kidney (infantile) malnutrition	腎疳		全身性虚弱または腎に関わる慢性脾疾患を伴う、先天異常による疳の症例であり、脾および腎の両虚をもたらす。骨疳と同義。
3.4.22	腎疳：骨疳	kidney (infantile) malnutrition	骨疳		全身性虚弱または腎に関わる慢性脾疾患を伴う、先天異常による疳の症例であり、脾および腎の両虚をもたらす。腎疳と同義。
3.4.23		eye (infantile) malnutrition	眼疳		疳を持つ小児での、肝火の眼への侵襲。
3.4.24		ascaris (infantile) malnutrition	蛔疳		回虫寄生による疳。
3.4.25		lactational malnutrition	哺乳疳		不適切な哺乳による乳児での疳。
3.4.26		(infantile) nutritional edema	疳腫脹		水腫および腹脹を現す疳。
3.4.27		anorexia	厭食		食欲喪失を特徴とする、小児の病的状態。
3.4.28	鵝口瘡：雪口	thrush	鵝口瘡		頬粘膜および舌の白色斑を特徴とする疾患。
3.4.28	鵝口瘡：雪口	thrush	雪口		頬粘膜および舌の白色斑を特徴とする疾患。
3.4.29		aphtha	口瘡		小さい有痛性の口腔潰瘍。
3.4.30		gingival eruption	馬牙		新生児の歯茎上の、小さい黄色がかった斑点の散発的発生。
3.4.31		wooden tongue	木舌		新生児の舌炎に見られる、木片のように硬く、腫脹し硬化した舌。
3.4.32		teeth grinding	齧齒		睡眠中の、音の大きい歯の摩擦音。
3.4.33		infantile convulsion	驚風		抽搐および神昏を現す小児疾患。
3.4.34		convulsion with unlifted eyes	天釣		壮熱、頭部後反、上方凝視を伴う小児抽搐。
3.4.35		convulsion with abdominal pain	内釣		主に臍感および腹痛を発現する小児抽搐。
3.4.36		acute infantile convulsion	急驚風		急性発症する小児抽搐。壮熱、神昏を併存する。
3.4.37		chronic infantile convulsion	慢驚風		緩徐に発症する反復性小児抽搐。神昏または麻痺、予後不良と関連する。
3.4.38		chronic spleen wind	慢脾風		陰盛陽衰を特徴とする慢性の小児痙攣の危篤症例。通常、脾の気虚および肝風の動を伴う長期にわたる嘔吐および泄瀉の後に発生する。
3.4.39	癲癇：癲症；癇病	epilepsy	癲癇		口腔内泡沫および四肢抽搐を伴う一時的な神昏を特徴とする疾患。発作後は正常に回復する。
3.4.39	癲癇：癲症；癇病	epilepsy	癲疾		口腔内泡沫および四肢抽搐を伴う一時的な神昏を特徴とする疾患。発作後は正常に回復する。
3.4.39	癲癇：癲症；癇病	epilepsy	癇病		口腔内泡沫および四肢抽搐を伴う一時的な神昏を特徴とする疾患。発作後は正常に回復する。
3.4.40		fright epilepsy	驚癇		驚により誘発される癲癇発作。
3.4.41		wind epilepsy	風癇		内動する肝風により誘発される癲癇発作。
3.4.42		phlegm epilepsy	痰癇		鬱気および結痰により誘発される癲癇発作。
3.4.43		tortoise back	龜背		脊柱後弯症による亀の甲羅様の形状の背部。
3.4.44	龜胸：鷄胸	pigeon chest	龜胸		胸骨が顕著な胸部の、鷄の胸部様の変形。鳩胸としても知られる。
3.4.44	龜胸：鷄胸	pigeon chest	鷄胸		胸骨が顕著な胸部の、鷄の胸部様の変形。鳩胸としても知られる。
3.4.45		ununited skull	解顛		頭蓋骨内の過剰な津の異常蓄積。頭部肥大、頭蓋骨縫合の遅れを現す。水頭症と同義。
3.4.46		five retardations	五遲		起立、歩行、毛髪成長、歯牙萌出、発声にわたる小児の発達遅延。
3.4.47		five limpnesses/flaccidity	五軟		頸部、項部、四肢、筋肉、咀嚼の軟。小児の成長遅延、精神遅滞を著明な特徴とする。
3.4.48		five stiffnesses	五硬		先天性欠損による新生児の手部、足部、腰部、肉、頸部の
3.4.49		summer non-acclimatization	疰夏		通常夏に発生する小児の疾患で、気力低下、胸焼け、腸の異常運動の症状を伴う。
3.4.50	痘瘡：天花	smallpox	痘瘡		急性で伝染性の高い熱性疾患。膿疱、口腔粘膜脱落、瘢痕形成を伴う皮疹を特徴とする。痘瘡・天然痘と同義。
3.4.50	痘瘡：天花	smallpox	天花		急性で伝染性の高い熱性疾患。膿疱、口腔粘膜脱落、瘢痕形成を伴う皮疹を特徴とする。痘瘡・天然痘と同義。
3.4.51		measles	麻疹		発熱および全身性斑状丘疹状皮疹を現す急性の発疹性疫病。咳嗽、鼻水、大量の涙液分泌、口腔内の白色斑点が先行す
3.4.52		exanthem	疹		皮疹または発疹の一般用語。しかし通常麻疹を表す。

3.4.53	風疹; 風痧(病)	rubella	風疹		時風熱または風熱毒により起こる伝染性発疹性疾患。微熱を特徴とし、耳後部リンパ節および後頭下リンパ節の肥大、頭部に始まり全身に広がるピンク色の斑状丘疹状皮疹が続く。
3.4.53	風疹; 風痧(病)	rubella	風痧		時風熱または風熱毒により起こる伝染性発疹性疾患。微熱を特徴とし、耳後部リンパ節および後頭下リンパ節の肥大、頭部に始まり全身に広がるピンク色の斑状丘疹状皮疹が続く。
3.4.53	風疹; 風痧(病)	rubella	風痧病		時風熱または風熱毒により起こる伝染性発疹性疾患。微熱を特徴とし、耳後部リンパ節および後頭下リンパ節の肥大、頭部に始まり全身に広がるピンク色の斑状丘疹状皮疹が続く。
3.4.54	喉痧; 爛喉 丹痧; 丹 痧; 疫痧; 猩紅熱	scarlatina	喉痧		喉頭の腫脹およびびらん、紅斑性皮疹、いちご舌を特徴とする急性の季節性の感染症。
3.4.54	喉痧; 爛喉 丹痧; 丹 痧; 疫痧; 猩紅熱	scarlatina	爛喉丹痧		喉頭の腫脹およびびらん、紅斑性皮疹、いちご舌を特徴とする急性の季節性の感染症。
3.4.54	喉痧; 爛喉 丹痧; 丹 痧; 疫痧; 猩紅熱	scarlatina	丹痧		喉頭の腫脹およびびらん、紅斑性皮疹、いちご舌を特徴とする急性の季節性の感染症。
3.4.54	喉痧; 爛喉 丹痧; 丹 痧; 疫痧; 猩紅熱	scarlatina	爛喉風		喉頭の腫脹およびびらん、紅斑性皮疹、いちご舌を特徴とする急性の季節性の感染症。
3.4.55	水痘; 水 痘; 水花; 水痘	chickenpox	水痘		時毒により起こる急性伝染性疾患。熱と斑状疹および丘疹の破裂を発現し、痂蓋が後続するが、痂形成はない。水痘と同
3.4.55	水痘; 水 痘; 水花; 水痘	chickenpox	水疱		時毒により起こる急性伝染性疾患。熱と斑状疹および丘疹の破裂を発現し、痂蓋が後続するが、痂形成はない。水痘と同
3.4.55	水痘; 水 痘; 水花; 水痘	chickenpox	水花		時毒により起こる急性伝染性疾患。熱と斑状疹および丘疹の破裂を発現し、痂蓋が後続するが、痂形成はない。水痘と同
3.4.55	水痘; 水 痘; 水花; 水痘	chickenpox	水瘡		時毒により起こる急性伝染性疾患。熱と斑状疹および丘疹の破裂を発現し、痂蓋が後続するが、痂形成はない。水痘と同
3.4.56	疥腮; 腮腫	mumps	疥腮		風熱毒により起こる流行性疾患で、耳下腺の片方または両方の有痛性腫脹を特徴とする。
3.4.56	疥腮; 腮腫	mumps	腮腫		風熱毒により起こる流行性疾患で、耳下腺の片方または両方の有痛性腫脹を特徴とする。
3.4.57	白喉; 白纏 喉	diphtheria	白喉		熱、咽喉痛および咽頭・喉頭・鼻に固着した白色の偽膜形成を特徴とする急性感染症。
3.4.57	白喉; 白纏 喉	diphtheria	白纏喉		熱、咽喉痛および咽頭・喉頭・鼻に固着した白色の偽膜形成を特徴とする急性感染症。
3.4.58		whooping cough	頓咳		呼吸器系の急性伝染性感染症。深吸気があり、一連の短く素早い咳が後続し、長く甲高い、ゼーゼーという吸気で終わる、特徴的な発作性咳嗽を伴う。百日咳を表す。
3.4.59		night crying	夜啼		乳児の病的な夜泣きであるが、昼間は静かである。
3.4.60		night crying due to fright	客忤夜啼		驚による乳児の夜泣き。
3.4.61		fright seizure	客忤		嘔吐、腹痛、場合によっては抽搐を起こすことすらある、驚の発作。
3.4.62	胎黄; 胎疸	neonatal jaundice	胎黄		新生児に見られる肌膚および強膜の黄変。
3.4.62	胎黄; 胎疸	neonatal jaundice	胎疸		新生児に見られる肌膚および強膜の黄変。
3.4.63		fetal redness	胎赤		新生児の肌膚の異常発赤。しばしば胎児期の毒熱罹患による。新生児紅皮症と同義。
3.4.64		umbilical wind	臍風		口唇チアノーゼ、牙関緊急、全身性筋緊張性攣縮、強縮性痙攣を特徴とする新生児疾患。新生児痙攣を表す。
3.4.65		umbilical dampness	臍濕		臍帯が取れた後の臍部の湿りおよび臍部からの滲出液の状態。臍リンパ液漏を表す。
3.4.66		umbilical sores	臍瘡		化膿性滲出液を伴う、臍部の発赤および腫脹または臍部周辺に広がる潰瘍。
3.4.67	臍疝; 臍突	umbilical hernia	臍疝		小腸の一部が臍部で突出した腹部ヘルニアの一種で、肌膚に覆われており、発赤、腫脹することがある。
3.4.67	臍疝; 臍突	umbilical hernia	臍突		小腸の一部が臍部で突出した腹部ヘルニアの一種で、肌膚に覆われており、発赤、腫脹することがある。
3.5.0		Ophthalmology	眼科		
3.5.1		photophobia	羞明		流涙を伴う、光に対する異常な恐怖または痛感。
3.5.2		dim vision	目暗		かすんだ、不明瞭な視界。
3.5.3		corneal opacity	翳		角膜の曇った混濁。
3.5.4		vision	障		視覚障害を伴う眼疾患の一般用語。
3.5.5		blindness	目盲		視力の不足または喪失。
3.5.6		sty	鍼眼		小麦粒様の形、大きさをした、眼瞼に発生する小型の癭。
3.5.7		phlegm node of the eyelid	胞生痰核		眼瞼上に形成される小さな塊で、発赤や疼痛は伴わない。主に霰粒腫を表す。
3.5.8		trachoma	椒瘡		多数の肉芽形成を現す眼疾患で、肉芽は赤く硬質で花椒様の形状であり、結膜表面に蓄積する。
3.5.9		conjunctival folliculitis	粟瘡		結膜表面上における粟様の形状・大きさの無数の胞の形成を特徴とする眼疾患。
3.5.10		marginal blepharitis	瞼弦赤爛		眼瞼辺縁の炎症および潰瘍。

3.5.11		wind red sore	風赤瘡痍		眼瞼肌膚の発赤を特徴とする眼瞼疾患。破裂後びらんになる小胞を伴う。
3.5.12		inflammatory swelling of the eyelid	胞腫如桃		熟した桃に類似した発赤を伴う眼瞼の重度の腫脹。
3.5.13		non-inflammatory edema of the eyelid	胞虚如球		軟らかいボールに類似した眼瞼の重度の腫脹であるが、局所的な肌膚の変色はなく、触れても痛みはない。
3.5.14		blepharoptosis	上胞下垂		上眼瞼の下垂。瞳孔を覆うと視界を障害する。
3.5.15		drooping eyelid	瞼廢		重篤な眼瞼下垂。
3.5.16		twitching eyelid	胞輪振跳		眼瞼の不随意的な攣縮。
3.5.17		trichiasis	倒睫拳毛		逆さ睫毛を伴う、眼瞼辺縁の逆転。眼痛、落涙、羞明を起こす。
3.5.18		heat tearing	熱涙		炎症性眼疾患で発生する熱型の流涙過多。
3.5.19		cold tearing	冷涙		寒型の流涙過多。発赤、疼痛、眼の混濁を伴わない。
3.5.20	漏睛：漏睛 膿出：些濕	dacryopyorrhea	漏睛		涙囊の慢性炎。内眼角からの津または膿の頻繁な流出を伴う。
3.5.20	漏睛：漏睛 膿出：些濕	dacryopyorrhea	漏睛膿出		涙囊の慢性炎。内眼角からの津または膿の頻繁な流出を伴う。
3.5.20	漏睛：漏睛 膿出：些濕	dacryopyorrhea	眵漏		涙囊の慢性炎。内眼角からの津または膿の頻繁な流出を伴う。
3.5.21		pterygium	胬肉攀睛		眼角で発生し角膜の一部を覆う、三角形の肉塊。
3.5.22		sudden attack of wind-heat on the eye	暴風客熱		風熱の外感による、突然発症する白睛の急性炎症。
3.5.23		epidemic conjunctivitis	天行赤眼		白睛の炎症の突発を特徴とする、伝染性の高い眼疾患。通常両側性で、共同体内に急速に蔓延する。
3.5.24		acute conjunctivitis with nebula	暴赤生翳		結膜および角膜の急性の流行性炎症性疾患。発赤、腫脹、疼痛、羞明、落涙を伴い、角膜白濁形成クラスターが後続する。
3.5.25	金疳：金瘍	phlyctenular conjunctivitis	金疳		小胞存在を現す多様な結膜炎。赤色の領域でおのおの囲まれており、濾胞性結膜炎としても知られる。
3.5.25	金疳：金瘍	phlyctenular conjunctivitis	金瘍		小胞存在を現す多様な結膜炎。赤色の領域でおのおの囲まれており、濾胞性結膜炎としても知られる。
3.5.26	火疳：火瘍	acute scleritis	火疳		白睛の内表に侵襲する過剰な火を原因とする眼疾患。局在性の暗紫色の斑点の膨隆をもたらす。上強膜炎を表すこともある。
3.5.26	火疳：火瘍	acute scleritis	火瘍		白睛の内表に侵襲する過剰な火を原因とする眼疾患。局在性の暗紫色の斑点の膨隆をもたらす。上強膜炎を表すこともある。
3.5.27		invasion of white membrane into the cornea	白膜侵睛		角膜近接の小胞の存在を特徴とする、特殊型のフリクテン性角結膜炎。角膜に侵入する白色膜物質を伴う。
3.5.28		bluish discoloration of sclera	白睛青藍		強膜の再発性炎症後の角膜周辺の眼球結膜の青みがかかった変色。青紫色の膨隆を伴う。
3.5.29		subconjunctival hemorrhage	白睛溢血		白睛の表面膜下の血管外漏出。
3.5.30		superficial punctate keratitis	聚星障		角膜上の多発性の細かい水滴状の混濁の出現を特徴とする眼疾患。
3.5.31		corneal ulcer	花翳白陷		花状に見える、角膜片雲の潰瘍化を特徴とする眼疾患。
3.5.32		purulent keratitis	凝脂翳		角膜の化膿性崩壊を伴う重度の角膜炎。
3.5.33		drooping pannus	赤膜下垂		角膜内に下垂する膜血管組織。トラコーマ症例において最も頻繁に発生する。
3.5.34		keratic pannus	血翳包睛		角膜全体を覆う表面血管新生。
3.5.35	瞳神乾缺： 瞳人乾缺	pupillary metamorphosis	瞳神乾缺		円形の正常な瞳孔の喪失。通常、慢性虹彩毛様体炎で見られる。
3.5.35	瞳神乾缺： 瞳人乾缺	pupillary metamorphosis	瞳人乾缺		円形の正常な瞳孔の喪失。通常、慢性虹彩毛様体炎で見られる。
3.5.36		greenish glaucoma	緑風内障		眼球硬化、強烈的な視覚障害、緑がかかった変色を伴う瞳孔拡大、重度の頭痛および眼痛を特徴とする急性眼疾患。
3.5.37		cataract	圓翳内障		水晶体混濁、視覚障害または盲目発生を特徴とする慢性眼疾患。
3.5.38		traumatic	驚震内障		眼の損傷に起因する白内障。
3.5.39		congenital	胎患内障		出生時の水晶体囊の混濁。
3.5.40		hyalosis	雲霧移睛		神膏内の雲状または星型の混濁の存在。
3.5.41		sudden blindness	暴盲		外見上の眼の異常は見られないが突然の視力喪失を特徴とする重度の眼疾患。
3.5.42		bluish blindness	青盲		眼表面に外見上の異常は伴わないが、全盲にいたる増加性の視覚障害を特徴とする眼疾患の一群。視神経萎縮を表す。
3.5.43	雀目：雀盲	night blindness	雀目		夜間または薄暗い照明下での視力不全。
3.5.43	雀目：雀盲	night blindness	雀盲		夜間または薄暗い照明下での視力不全。
3.5.44		retinopathy pigmentosa	高風内障		雀目、視野狭窄、最終的には盲目を特徴とする進行性変性疾患。
3.5.45		foreign body in the eye	異物入目		眼球表面に付着または埋め込まれた小さな異物。
3.5.46		collision eye	撞擊傷目		破裂による創傷は伴わない、打撃による眼損傷。

3.5.47		ruptured wound of the eyeball	眞睛破損		破裂による創傷を伴う、眼球への鋭的損傷または他の眼の損傷。
3.5.48		(nutritional) keratomalacia	疳眼		乳児期の栄養失調に起因する眼疾患。眼球乾燥、角膜の混濁、軟化、潰瘍化を特徴とする。
3.5.49		paralytic strabismus	風牽偏視		風邪の襲来による眼球運動障害、複視を伴う斜視の突発。
3.5.50		fixed protruding eye	鵝眼凝睛		鷹の目様の眼球の固定および突出を特徴とする徴候。
3.5.51		sudden protrusion of the	突起睛高		有痛性の眼球突出、脹を特徴とする急性眼疾患。しばしば化膿性眼炎を表す。
3.5.52		distention of eyeball	睛脹		突起睛高の同義語。
3.5.53		eye discharge	眵		眼からの分泌物。希薄または粘性性、または膿様の場合すらある。
3.5.54		deviated eye and mouth	口眼喎斜		片方の眼球および口の一方への偏位。閉眼不能であり、同側の口角からは流涎を伴う。
3.6.0		Otorhinolaryngology	耳鼻咽喉口齒科		
3.6.1		ear boil	耳疔		外耳道のおでき。
3.6.2		ear sore	耳瘡		外耳道のびまん性炎症。
3.6.3	旋耳瘡; 月蝕瘡	eczema of external ear	旋耳瘡		耳周辺の発赤、掻痒、滲出、滲出性出血、小水疱形成、痂皮形成を特徴とする皮膚病変。
3.6.3	旋耳瘡; 月蝕瘡	eczema of external ear	月蝕瘡		耳周辺の発赤、掻痒、滲出、滲出性出血、小水疱形成、痂皮形成を特徴とする皮膚病変。
3.6.4		impacted	釘耳		外耳道を塞ぐ固形塊を形成する耳垢蓄積。
3.6.5		ear distension	耳脹		耳内の疼痛および難聴を伴う脹感を特徴とする耳の疾患。しばしば急性非化膿性中耳炎を表す。
3.6.6		purulent ear	膿耳		鼓膜の穿孔および膿の排出を特徴とする耳の疾患。耳漏を表す。
3.6.7		postauricular infection	耳根毒		乳様突起領域の疼痛および圧痛、局所の腫脹を現す疾患。膿の排出を伴う破裂を現すことすらある。
3.6.8		postauricular abscess	耳根癰		癰形成を伴う耳後部の感染。
3.6.9		ear pile	耳痔		外耳道の結節性乳頭腫。
3.6.10	耳菌; 耳蕈	ear polyp	耳菌		外耳道のポリープ。
3.6.10	耳菌; 耳蕈	ear polyp	耳蕈		外耳道のポリープ。
3.6.11		ear protuberance	耳挺		外耳道の長茎乳頭腫。
3.6.12		ear fistula	耳瘻		耳介の前部および後部の瘻孔。
3.6.13		hardness of hearing	重聴		聴覚低下または聴力障害。
3.6.14		nasal boil	鼻疔		鼻前庭部、鼻先端部または鼻翼に発生するおでき。
3.6.15	鼻燥; 鼻乾	dry nose	鼻燥		鼻内の燥。
3.6.15	鼻燥; 鼻乾	dry nose	鼻乾		鼻内の燥。
3.6.16	鼻瘡; 鼻疔	nasal sore	鼻瘡		潰瘍、痂皮、掻痒、疼痛を伴う鼻前庭部の再発性炎症を現す疾患。鼻前庭炎と同義。
3.6.16	鼻瘡; 鼻疔	nasal sore	鼻疔		潰瘍、痂皮、掻痒、疼痛を伴う鼻前庭部の再発性炎症を現す疾患。鼻前庭炎と同義。
3.6.17		atrophic rhinitis	鼻槁		萎縮、鼻道肥大、悪臭を伴う乾性粘膜を特徴とする鼻の疾
3.6.18	鼻皰; 鼻嚏	allergic rhinitis	鼻皰		鼻の掻痒、噴嚏、希薄な鼻水、鼻閉の突発性および再発性発作を特徴とする疾患。
3.6.18	鼻皰; 鼻嚏	allergic rhinitis	鼻嚏		鼻の掻痒、噴嚏、希薄な鼻水、鼻閉の突発性および再発性発作を特徴とする疾患。
3.6.19	鼻痔; 鼻息肉; 鼻菌	nasal polyp	鼻痔		鼻腔内の下垂状増殖。
3.6.19	鼻痔; 鼻息肉; 鼻菌	nasal polyp	鼻息肉		鼻腔内の下垂状増殖。
3.6.19	鼻痔; 鼻息肉; 鼻菌	nasal polyp	鼻菌		鼻腔内の下垂状増殖。
3.6.20	鼻淵; 腦漏	sinusitis	鼻淵		濁った鼻汁の持続的な過剰流出を特徴とする鼻の疾患。
3.6.20	鼻淵; 腦漏	sinusitis	腦漏		濁った鼻汁の持続的な過剰流出を特徴とする鼻の疾患。
3.6.21	乳蛾; 喉蛾	tonsillitis	乳蛾		口蓋扁桃の炎症。乳汁様の黄白色分泌物に覆われることがある。
3.6.21	乳蛾; 喉蛾	tonsillitis	喉蛾		口蓋扁桃の炎症。乳汁様の黄白色分泌物に覆われることがある。
3.6.22		chronic tonsillitis	石蛾		炎症を伴わない、小児における口蓋扁桃の硬い肥大。
3.6.23		throat	喉癆		咽喉の発赤、腫脹、疼痛または掻痒。嚥下
3.6.24		throat abscess	喉癰		咽喉の癰。咽後の癰および扁桃の癰を含む。
3.6.25		ominous abscess of the throat	猛疽		呼吸閉塞を引き起こす咽喉頭の癰の重度の症例。適切な処置が間に合わない場合、しばしば致命的になる。
3.6.26		lichenoid erosion of the throat	喉癬		白癬に類似した、咽喉頭粘膜の潰瘍。咽頭結核を表すことが多い。
3.6.27	喉菌; 喉巖	throat cancer	喉菌		茸の形状をした咽喉悪性腫瘍。
3.6.27	喉菌; 喉巖	throat cancer	喉巖		茸の形状をした咽喉悪性腫瘍。
3.6.28		bone stuck in the throat	骨鯁		魚骨または割れた動物骨が咽喉に刺さった状態。
3.6.29		tumor of the	喉瘤		咽喉の新生物。

3.6.30		throat wind	喉風		急性状態の咽喉の腫脹および疼痛の一般用語。
3.6.31		fulminant throat wind	緊喉風		咽喉の腫脹および疼痛、呼吸時および嚥下時の困難を発現する咽喉の急性感染症。
3.6.32		entwining throat wind	纏喉風		裏では口峡に絡みつくと発赤、表では頸周辺の腫脹を伴う咽喉の重度の感染症。
3.6.33		obstructive throat wind	鎖喉風		局所的疼痛および腫脹、喘、発声時および嚥下時の困難、牙関緊急を伴う咽喉の急性感染症。
3.6.34		double tongue	重舌		突出した舌下の腫脹および発赤。二重の舌のような形になる。
3.6.35		ankyloglossia	絆舌		舌の運動の制限。しばしば舌小帯短小に起因する。
3.6.36		tongue abscess	舌癰		舌の化膿性炎症。
3.6.37		tongue boil	舌疔		局在性で疼痛性の硬質腫脹を特徴とする、舌の膿疱。悪寒および発熱と関連する。
3.6.38		tongue sore	舌瘡		局所的なひび割れ、腫脹、出血を伴う、舌に発生する瘡。口臭、便秘が付随する。
3.6.39		tongue cancer	舌菌		大きな頭部と薄い茎を持つ茸状の舌癌。
3.6.40	痰包; 舌下痰包	phlegm cyst	痰包		嚢様の形状をした舌下の腫脹。触れると滑らかで軟らかく、濃厚な黄色がかった津を内包する。
3.6.40	痰包; 舌下痰包	phlegm cyst	舌下痰包		嚢様の形状をした舌下の腫脹。触れると滑らかで軟らかく、濃厚な黄色がかった津を内包する。
3.6.41		toothache	牙痛		一本または複数の歯痛。
3.6.42		dental caries	齲齒		局在性の破壊および窩形成を伴う齲齒を現す歯科疾患。
3.6.43	牙宣; 食床; 齒挺; 齒齲宣	gum atrophy	牙宣		歯頸部からの歯肉の後退による歯根表面の露出。
3.6.43	牙宣; 食床; 齒挺; 齒齲宣	gum atrophy	食床		歯頸部からの歯肉の後退による歯根表面の露出。
3.6.43	牙宣; 食床; 齒挺; 齒齲宣	gum atrophy	齒挺		歯頸部からの歯肉の後退による歯根表面の露出。
3.6.43	牙宣; 食床; 齒挺; 齒齲宣	gum atrophy	齒齲宣露		歯頸部からの歯肉の後退による歯根表面の露出。
3.6.44		ulcerative gingivitis	牙疳		壊死および口臭排出を伴う歯肉の疼痛性炎症を特徴とする疾患。
3.6.45	口糜; 口疳	oral erosion	口糜		頬粘膜上にある多数の斑点状のびらんを特徴とする状態。
3.6.45	口糜; 口疳	oral erosion	口疳		頬粘膜上にある多数の斑点状のびらんを特徴とする状態。
3.6.46		maxillary osteomyelitis	骨槽風		顎の骨の炎症性疾患。膿排出を伴い、組織の局所的死亡および分離を特徴とする。
3.6.47		exfoliative	唇風		ひび割れ、滲出を伴う口唇の炎症。
3.6.48		lip pustule	唇疔		小さいが根強い、口唇または口角の癰。膿疱形成を伴う。
3.6.49		lip cancer	唇菌		口唇に発生する茸状の癌。
3.6.50		deviated mouth	口僻		口部の顔面の一方への歪みを特徴とする病的状態。口角からの流涎、閉眼不能を伴う。
3.7.0		Orthopedics and	骨傷科		
3.7.1		stiff neck	落枕		頸部軟部組織の急性炎または捻挫。
3.7.2	筋傷; 傷筋	sinew injury	筋傷		筋肉、筋、腱鞘、靭帯、関節包、滑液包、椎間板、末梢神経、血管など、皮下組織の損傷。
3.7.2	筋傷; 傷筋	sinew injury	傷筋		筋肉、筋、腱鞘、靭帯、関節包、滑液包、椎間板、末梢神経、血管など、皮下組織の損傷。
3.7.3		ruptured sinew	筋斷		筋肉および腱の完全または部分断裂。
3.7.4		contracted sinew	筋縮		変形および機能不全を伴う筋肉の永続的な短縮。
3.7.5		thickened sinew	筋粗		損傷後の筋腱の肥厚。
3.7.6		hypertonicity of the sinews	筋孿		弛緩および運動の困難を伴う、筋肉抽搐および四肢の拘急。
3.7.7		impediment of the sinew	筋痹		主に筋に関与する、風寒湿により起こる障害性疾患。
3.7.8		sprain	扭傷		突発の、または激しい関節のねじれまたはひねりによる軟部組織損傷。
3.8.0		Others	其他		
3.8.1		disease produced by viscus	所生病		関連臓器の疾患または症候により誘発される、特定の経穴の疾患。臓による疾患としても知られる。
3.8.2		disease transmitted by meridian	是動病		関連臓器の疾患または症候により誘発される、特定の経穴の疾患。臓による疾患としても知られる。
3.8.3		six-meridian disease	六經病		太陽、陽明、少陽、太陰、少陰、逆陰の疾患の一般用語。
3.8.4		exterior cold disease induced from the spleen affected by cold	脾受寒表寒病		少陽人の、脾に罹患する寒により誘発される表寒病。
3.8.5		interior febrile disease induced from the stomach affected by heat	胃受熱裏熱病		少陽人の、胃に罹患する熱により誘発される裏熱病。
3.8.6		exterior febrile disease induced from the kidney affected by heat	腎受熱表熱病		少陰人の、腎に罹患する熱により誘発される表熱病。

3.8.7		interior cold disease induced from the stomach affected by cold	胃受寒裏寒病		少陰人の、胃に罹患する寒により誘発される裏寒病。
3.8.8		interior febrile disease induced from the liver affected by heat	肝受熱裏熱病		太陰人の、肝に罹患する熱により誘発される裏熱病。
3.8.9		exterior cold disease induced from the stomach duct affected by cold	胃脘受寒表寒病		太陰人の、胃に罹患する寒により誘発される表寒病。
3.8.10		lumbar vertebrae disease induced by exopathogen	外感腰脊病		太陽人の、外邪により誘発される腰椎疾患。
3.8.11		small intestine disease induced by endopathogen	内觸小腸病		太陽人の、内邪により誘発される小腸疾患。
4.0.0		THERAPEUTIC	治療學		
4.1.0		therapeutic principle	治則		疾患治療の際に従うべき一般規則。
4.1.1	治本; 本治法	treat the root	治本		疾患の根本的な面を治療すること。
4.1.1	治本; 本治法	treat the root	本治法		疾患の根本的な面を治療すること。
4.1.2	治標; 標治法	treat the tip	治標		疾患の二次的な面を治療すること。
4.1.2	治標; 標治法	treat the tip	標治法		疾患の二次的な面を治療すること。
4.1.3	正治; 正治法	routine treatment	正治		疾患に対して逆の性質の薬物を使用すること。例、熱症を、寒の性質を持つ薬物で治療する。
4.1.3	正治; 正治法	routine treatment	正治法		疾患に対して逆の性質の薬物を使用すること。例、熱症を、寒の性質を持つ薬物で治療する。
4.1.4		treat cold with	寒者熱之		寒証を温熱法で治療すること。
4.1.5		treat heat with	熱者寒之		熱証を寒涼法で治療すること。
4.1.6		treat deficiency by tonification	虚則補之		虚証を補法により治療すること。
4.1.7		treat excess by purgation	實則瀉之		実証を下法により治療すること。
4.1.8	反治; 反治法	paradoxical treatment	反治		疾患と性質が同じ薬物を使用すること。
4.1.8	反治; 反治法	paradoxical treatment	反治法		疾患と性質が同じ薬物を使用すること。
4.1.9		treating cold with cold	寒因寒用		仮寒を、涼または寒の性質を持つ薬物で治療すること。
4.1.10		treating heat with heat	熱因熱用		仮熱を、温または熱の性質を持つ薬物で治療すること。
4.1.11		treating the unstoppped by unstoppping	通因通用		通利の症状に通利法を適用すること。例、食物鬱滞による下痢の治療に瀉下薬を用いる。
4.1.12		treating the stopped by stoppping	塞因塞用		閉塞の症状に補塞法を適用すること。例、気虚による便秘の治療に補法を使用する。
4.1.13		reinforce the healthy qi and eliminate the pathogenic	扶正祛邪		治療の2つの一般原則。— 患者の正気を強めることと、侵入している病邪を排除すること。これらは、症例の状態によって、別々に、または組み合わせて適用できる。
4.1.14		treat with both elimination and reinforcement	攻補兼施		攻邪と扶正を併用する治療の原則。実証を起こしている虚弱体質の患者に適する。
4.1.15		erroneous treatment	誤治		無効となるまたは有害な影響を与える可能性のある、間違った治療。
4.1.16		same treatment for different	異病同治		異なる種類の疾患であるが同じ証を有する患者に、同じ治療法を適用すること。
4.1.17		different treatments for the same disease	同病異治		同じ種類の疾患であるが異なる証を有する患者に、異なる治療法を適用すること。
4.1.18		treating the acute before the	先急後緩		急性疾患は慢性疾患よりも先に治療すべきであること。
4.1.19		treating the exterior before the interior	先表後裏		表症は最初に治療すべきであり、裏症はその後で治療すべきであること。
4.1.20		modified formula	加減方		本来の処方から成分をいくつか追加または削除した処方。
4.1.21		combined	合方		2以上の処方を組み合わせた薬物の処方。

4.2.0		Method of Treatment	治法		
4.2.1		method of treatment	治法		治療の原則から派生したすべての特定の介入法。
4.2.2		eight methods	八法		和法、温法、清法、補法、汗法、吐法、下法、消法の総称。
4.2.3		reinforce the healthy qi	扶正		体の正気を強めて治療することの一般用語。
4.2.4		eliminate the pathogenic	祛邪		体から病邪を排除して治療することの一般用語。
4.2.5		promoting sweating	汗法		治療八法の1つ。表症を解除するために用いられる。発汗療法とも呼ばれる。
4.2.6		release the	解表		体の表面から病邪を排除することの一般用語。
4.2.7		promote sweating to release the exterior	發汗解表		発汗剤により表証を解除する治療法。
4.2.8		release the exterior with pungent-warm	辛温解表		辛温解表薬を用いた風寒表証の治療法。
4.2.9		release the exterior with	辛涼解表		辛涼薬を用いた風熱表証の治療法。
4.2.10		release the flesh	解肌		肌から病邪を排除することの一般用語
4.2.11		outthrust through the exterior	透表		表証で、外感病の初期治療において、体から病邪を除去するために使用される治療法。
4.2.12		outthrust rashes	透疹		はしかの発疹を促進し、合併症を予防するために使用される治療法。発疹促進と同義。
4.2.13		dispel wind	祛風		外風証を緩和することの一般用語。
4.2.14		disperse wind	疏風		外風邪を消散させ表証を解除するために使用される治療法。
4.2.15		dissipate cold	散寒		外寒邪を消散させる治療法。
4.2.16		disperse wind and discharge	疏風泄熱		解表薬と清熱薬を併用し、裏熱を伴う外感風を治療する方法。
4.2.17		disperse from the exterior and moisten dryness	疏表潤燥		解表および潤燥薬を用いた治療法。表の風燥の治療に適用される。
4.2.18		disperse wind-	疏散風熱		辛涼解表薬を用いて外感風熱を治療する方法。
4.2.19		reinforce the healthy qi and release the	扶正解表		解表薬と補薬を併用して、虚証で生じる表証を治療する方法。
4.2.20		diffuse the lung	宣肺		肺を広げ、肺の正常な気機を回復させる治療法。
4.2.21		diffuse the lung to suppress cough and to calm panting	宣肺止咳平喘		肺の正常な気機を回復させ、咳嗽を抑え、あえぎ呼吸を鎮めること。
4.2.22		diffuse the lung to suppress	宣肺止咳		肺の正常な気機を回復させ、咳嗽を抑えること。
4.2.23		diffuse the lung to calm panting	宣肺平喘		肺の正常な気機を回復させ、あえぎ呼吸を鎮めること。
4.2.24		diffuse the lung to resolve phlegm	宣肺化痰		肺の正常な気機を回復させ、痰を排出すること。
4.2.25	通鼻；通(鼻)竅	relieve the stuffy nose	通鼻		鼻閉を緩和する治療法。
4.2.25	通鼻；通(鼻)竅	relieve the stuffy nose	通竅		鼻閉を緩和する治療法。
4.2.25	通鼻；通(鼻)竅	relieve the stuffy nose	通鼻竅		鼻閉を緩和する治療法。
4.2.26		soothe the throat	利咽		喉の痛みを緩和する治療法。
4.2.27		clearing method	清法		治療八法の1つ。涼または寒の性質を持つ薬剤を投与して、火証または熱証を治療すること。
4.2.28		clear heat	清熱		熱邪を解除する治療法。
4.2.29		purge fire	瀉火		苦寒薬を用いて火邪を除去する治療法。
4.2.30	清氣；清氣泄熱	clear the qi aspect	清氣		気分から熱邪を解除する治療法。
4.2.30	清氣；清氣泄熱	clear the qi aspect	清氣泄熱		気分から熱邪を解除する治療法。
4.2.31		clear the heart	清心		温疾患において心臓または心包に侵入している病邪を治療する治
4.2.32		clear the pericardium	清宮		心包から熱邪を解除する治療法。
4.2.33		clear the nutrient aspect	清營		営分から熱邪を解除する治療法。
4.2.34		purge the heart	瀉心		下剤を用いて心臓から激しい熱邪または火邪を除去する治療法。
4.2.35		purge the lung	瀉肺		苦寒薬を用いて肺から火邪を清瀉する治療法。
4.2.36		purge the liver	瀉肝		苦寒薬を用いて肝臓から火邪を清瀉する治療法。
4.2.37	清氣涼營；氣營兩清	clear the qi aspect and cool the nutrient	清氣涼營		清気法および清営法を併用して、気分および営分における熱邪を治療すること。

4.2.37	清氣涼營; 氣營兩清	clear the qi aspect and cool the nutrient	氣營兩清		清氣法および清營法を併用して、気分および営分における熱邪を治療すること。
4.2.38		clear the nutrient aspect and cool the blood aspect	清營涼血		清營法および涼血法を併用して、営分および血分における熱邪を治療すること。
4.2.39		clear the nutrient aspect and promote eruption	清營透疹		営分から熱邪を解除し、発疹を促進する併用治療法。
4.2.40	清熱涼血; 涼血	clear heat to cool the blood	清熱涼血		清熱涼血薬を用いた血熱証の治療法。
4.2.40	清熱涼血; 涼血	clear heat to cool the blood	涼血		清熱涼血薬を用いた血熱証の治療法。
4.2.41	透營轉氣; 透熱轉氣	expel from the nutrient aspect through the qi aspect	透營轉氣		営分から気分へと熱邪を押し出し、その後体外に排出する治療法。
4.2.41	透營轉氣; 透熱轉氣	expel from the nutrient aspect through the qi aspect	透熱轉氣		営分から気分へと熱邪を押し出し、その後体外に排出する治療法。
4.2.42		clear the nutrient aspect and eliminate stasis	清營祛瘀		清熱解毒薬と活血化瘀薬を併用した、瘀血と相搏つ熱邪証の治療法
4.2.43		clear heat and engender fluid	清熱生津		清熱薬と生津薬を併用した、津の消耗を伴う火証または熱証の治療法。
4.2.44		clear heart fire	清心火		心火を解除して心火盛証を治療する方法。
4.2.45		clear liver fire	清肝火		肝火を解除して、肝火盛証および肝火上炎証を治療する方法。
4.2.46		clear the liver	清肝		肝熱または肝火を解除する治療法
4.2.47		clear heat and drain dampness	清熱利濕		利尿により熱邪を解除し、湿邪を除去する治療法。清熱薬と利湿薬を併用して、下焦における湿熱の蓄積を治療する。
4.2.48		clear stomach	清胃火		胃から火邪を解除し、胃火盛を治療する方法。
4.2.49		clear the stomach	清胃		胃から熱邪または火邪を解除する治療法。
4.2.50		clear heat and harmonize the stomach	清熱和胃		熱邪を解除し、胃を調和させることで、胃火盛を治療する方法。
4.2.51		inhibit acidity to relieve pain	制酸止痛		制酸薬を用いて胃痛を緩和する治療法。
4.2.52	清肺火; 清肺	clear lung fire	清肺火		肺清熱薬を用いて肺の火盛を治療する方法。
4.2.52	清肺火; 清肺	clear lung fire	清肺		肺清熱薬を用いて肺の火盛を治療する方法。
4.2.53	清相火; 清腎火	clear ministerial fire	清相火		腎虚火を解除する治療法
4.2.53	清相火; 清腎火	clear ministerial fire	清腎火		腎虚火を解除する治療法
4.2.54		clear summerheat	清暑熱		暑熱邪を解除する治療法
4.2.55		release summerheat	解暑		暑邪を解除する治療法
4.2.56		clear summerheat and boost qi	清暑益氣		津および気を消耗させる暑証を、清熱去暑薬と補氣薬および生津薬を用いて治療する方法。
4.2.57		discharge heat to preserve fluid	泄熱救津		津を消耗させる火熱証を、清熱薬と生津薬を用いて治療する方法。
4.2.58		clear and disperse with	輕清宣化		芳香薬を用いて、湿邪を解除する治療法。湿滯証の治療に適用される。
4.2.59		discharge fire with bitter-cold	苦寒泄火		苦寒薬を用いて火邪を排除する治療法。
4.2.60		clear heat with bitter-cold	苦寒清熱		苦寒薬を用いて内熱を解除する治療法。
4.2.61		clear qi with the bitter-cold	苦寒清氣		苦寒薬を用いて気分から熱邪を解除する治療法。
4.2.62		clear qi with the pungent-cold	辛寒清氣		辛寒薬を用いて気分から熱邪を解除する治療法。
4.2.63		downbear fire	降火		清熱瀉火薬を用いて熱火邪の昇侵入を治療する方法
4.2.64		detoxify	解毒		(1) 病邪の毒性を低減させる方法; (2) 毒物の毒性を中和する方法。
4.2.65		relieve (infantile) malnutrition	除疳熱		小児の栄養不良性発熱を治療する方法。
4.2.66	下法; 瀉下 [法]	purgation	下法		治療八法の1つ。便秘を緩和し、鬱滯した食物、鬱血、内熱または過剰な津を、腸を介して除去すること。
4.2.66	下法; 瀉下 [法]	purgation	瀉下		治療八法の1つ。便秘を緩和し、鬱滯した食物、鬱血、内熱または過剰な津を、腸を介して除去すること。
4.2.66	下法; 瀉下 [法]	purgation	瀉下法		治療八法の1つ。便秘を緩和し、鬱滯した食物、鬱血、内熱または過剰な津を、腸を介して除去すること。
4.2.67	寒下; 瀉下 泄熱	cold purgation	寒下		寒の性質を持つ薬剤を用いて瀉下を起こし、内部の過剰な熱邪を治療する方法。

4.2.67	寒下；瀉下泄熱	cold purgation	瀉下泄熱	寒の性質を持つ薬剤を用いて瀉下を起こし、内部の過剰な熱邪を治療する方法。
4.2.68		warm purgation	溫下	瀉下を起こし、寒を消散させて内寒結による裏実証を治療する方法。
4.2.69	峻下；急下	drastic purgation	峻下	峻下剤を用いて裏実証を治療する方法。
4.2.69	峻下；急下	drastic purgation	急下	峻下剤を用いて裏実証を治療する方法。
4.2.70	輕下；緩攻	mild purgation	輕下	穏やかな下剤を用いて腸の動きを起こさせる治療法
4.2.70	輕下；緩攻	mild purgation	緩攻	穏やかな下剤を用いて腸の動きを起こさせる治療法
4.2.71		laxation	緩下	潤下薬を用いて便秘を緩和する治療法。
4.2.72		lubricant laxation	潤下	補津潤滑薬を用いて便通を起こし、腸燥による便秘を治療する方法。
4.2.73		moisten the intestines	潤腸	加湿薬を用いて、腸燥による便秘を治療する方法。
4.2.74		relax the bowels	通便	便秘を緩和する治療法。
4.2.75		soften hardness with purgation	瀉下軟堅	腸内の硬い糞便の塊を、下剤を用いて取り除く治療法。
4.2.76		remove accumulation with purgation	瀉下攻積	蓄積された未消化の食物を、下剤を用いて取り除く治療法。
4.2.77		take away firewood from under cauldron	釜底抽薪	瀉下薬で熱邪を解除する方法の比喩的な表現。
4.2.78		remove cold accumulation with warm	溫下寒積	温化薬と下剤を投与して、内寒結による裏実証を治療する方法。
4.2.79		expel water by purgation	瀉下逐水	利尿薬を用いて水停を解除する治療法。
4.2.80	瀉下逐飲；攻逐水飲	expel retained fluid by	瀉下逐飲	利尿薬を用いて鬱滞した津を排出する治療法
4.2.80	瀉下逐飲；攻逐水飲	expel retained fluid by	攻逐水飲	利尿薬を用いて鬱滞した津を排出する治療法
4.2.81	増液潤下；増液潤腸	increase humor to relax bowels	増液潤下	補津潤腸薬を用いて腸の動きを促進する治療法。
4.2.81	増液潤下；増液潤腸	increase humor to relax bowels	増液潤腸	補津潤腸薬を用いて腸の動きを促進する治療法。
4.2.82		harmonizing method	和法	治療八法の1つ。内臓の機能を調節して正常な関係を回復させる、または体の外部と内部の間の部分を仲介して病邪を解除すること。
4.2.83		harmonize the blood	和血	血液疾患を緩和または治癒させる治療法。
4.2.84		harmonize the nutrient	和營	營分を調節する治療法。
4.2.85		harmonize qi and blood	調和氣血	理気活血薬を用いて気血失調を治療する方法。
4.2.86		harmonize the nutrient and defense	調和營衛	營衛不和を治療する方法。
4.2.87		regulate qi	理氣	気の流れの鬱滞や逆流など、異常な気の流れの治療の一般用語
4.2.88		move qi	行氣	気の鬱滞を緩和する治療法。
4.2.89		regulate the	理中	虚寒証において脾および胃を強化し調節する治療法。
4.2.90		harmonize the stomach	和胃	胃の機能不全の治療法。
4.2.91		harmonize the spleen and stomach	調和脾胃	気機を調節することで脾胃不和を治療する方法。
4.2.92		harmonize the liver and	調和肝胃	肝を疏散し、胃を調和させ、肝気犯胃および肝胃不和を治療する方法。
4.2.93		harmonize the liver and spleen	調和肝脾	肝を疏散し、脾を活性化し、気の活動を調節して、肝気犯脾および肝脾不和を治療する方法。
4.2.94		harmonize and release the exterior and	和解表裏	軽度の表裏俱証の治療法。
4.2.95		harmonize and release the lesser yang	和解少陽	少陽(体の半表半裏)に留まっている病邪と戦う薬剤を投与することで外感熱性疾患を治療する方法。
4.2.96		coordinate the heart and kidney	交通心腎	心火を解除し、腎陰を補うことで心腎不交を治療する方法。
4.2.97		open onto the pleurodiaphragmatic interspace	開達膜原	穢濁邪伏膜原を解除する治療法。
4.2.98		release both the exterior and interior	表裏雙解	体の外部および内部から病邪を解除する治療の一般用語。表裏同病の治療に適用される。
4.2.99		dispel dampness	祛濕	濕証のさまざまな治療法の一般用語。芳香薬を用いた濕邪の解除、苦寒薬を用いた濕邪の解除、利尿による濕邪の除去など。

4.2.100		clear heat and eliminate dampness	清熱除濕		清熱薬と化湿薬を併用して、上焦および中焦の湿熱を治療する方法。
4.2.101		purge the liver and eliminate dampness	瀉肝除濕		肝およびその経絡の湿熱を治療する方法。
4.2.102		dissipate cold and dispel dampness	散寒祛湿		辛温薬を用いて、寒邪を消散させ、湿邪を乾燥させて、寒湿阻証を治療する方法。
4.2.103		resolve dampness	化湿		温の性質を持ち、乾燥効果を有する芳香薬を用いて湿邪を消散させる方法の1つ。
4.2.104		clear heat and resolve dampness	清熱化湿		清熱薬と化湿薬を併用して湿熱証を治療する方法。
4.2.105		dispel summerheat and resolve dampness	祛暑化湿		清暑剤と化湿薬を併用して、暑湿証を治療する方法。
4.2.106		enliven the spleen and resolve dampness	醒脾化湿		脾臓機能不全による湿邪鬱滞の治療法。
4.2.107		resolve dampness with aroma	芳香化湿		芳香薬を用いた湿証の治療法。
4.2.108		resolve turbidity with aroma	芳香化濁		芳香薬を用いた湿濁証の治療法。
4.2.109		dispel filth with aroma	芳香辟穢		芳香薬を用いて穢濁を除去する治療法。
4.2.110		direct repulsion with bitter-cold	苦寒直折		苦寒薬を用いて直接熱邪を清瀉し火邪を降濁する治療法。
4.2.111		resolve dampness to move qi	化湿行氣		湿濁を除去することにより氣滯を治療する方法。
4.2.112		dry dampness	燥湿		乾燥薬を用いて湿邪を消散させる方法の1つ。
4.2.113		dry dampness with bitter-warm	苦温燥湿		苦温薬を用いて寒湿証を治療する方法。
4.2.114		clear heat and dry dampness	清熱燥湿		湿熱の蓄積を緩和する治療法。
4.2.115		dry dampness to fortify the spleen	燥湿健脾		辛味の乾燥薬を投与し、湿邪を解除して、脾を活気づける治療法。湿困脾陽の治療に適用される。
4.2.116		drain dampness	利湿		利尿を促進することで湿邪を消散させる方法の1つ。
4.2.117		induce diuresis to drain dampness	利水渗湿		利尿薬を用いて湿邪の内部鬱滞を治療する方法。
4.2.118	淡渗利湿; 淡渗祛湿	drain dampness with bland	淡渗利湿		甘いまたは刺激性の低い利尿薬を用いて、湿邪を除去する治療法
4.2.118	淡渗利湿; 淡渗祛湿	drain dampness with bland	淡渗祛湿		甘いまたは刺激性の低い利尿薬を用いて、湿邪を除去する治療法
4.2.119		induce diuresis to alleviate edema	利水消腫		利尿薬を用いた水腫の治療法。
4.2.120	分消上下; 分消走泄	separate elimination from upper and lower	分消上下		薬剤を用いて上焦を開き、中焦を広げ、下焦を排液して、三焦の氣機が温熱および痰湿により妨げられている状態を治療する方法。
4.2.120	分消上下; 分消走泄	separate elimination from upper and lower	分消走泄		薬剤を用いて上焦を開き、中焦を広げ、下焦を排液して、三焦の氣機が温熱および痰湿により妨げられている状態を治療する方法。
4.2.121		resolve retained fluid	化飲		鬱滞した津を消散させる全ての治療法。
4.2.122		dispel phlegm	祛痰		痰証の治療法の一般用語。痰の解消または痰の解除など。
4.2.123		resolve phlegm	化痰		痰を消散させる方法の1つ。痰は分解され溶解する。
4.2.124		dry dampness to resolve phlegm	燥湿化痰		苦味で乾燥作用のある薬剤を用いて湿痰証を治療する方法。
4.2.125		clear and resolve heat-phlegm	清化熱痰		清熱化痰薬を併用して、熱痰証を治療する方法。
4.2.126		warm and resolve cold-phlegm	温化寒痰		温陽、去寒、化痰薬を用いて、寒痰証を治療する方法。
4.2.127		warm the lung and resolve	温肺化痰		温化化痰薬を用いて、肺の寒痰蓄積を治療する方法。
4.2.128		warm the lung and resolve fluid retention	温肺化飲		温化化津薬を用いて、肺の寒津鬱滞を治療する方法。
4.2.129		extinguish wind and resolve phlegm	熄風化痰		熄風薬と化痰薬を併用して風痰証を治療する方法。
4.2.130		dispel wind-phlegm	祛風痰		風邪または風熱邪と組み合わさった痰証を治療する方法。
4.2.131		moisten dryness to resolve phlegm	潤燥化痰		燥痰証の治療法。

4.2.132	降氣化痰； 下氣消痰	direct qi downward to	降氣化痰		降氣薬および化痰薬を併用して、気滞による痰の逆流を治療する方法。
4.2.132	降氣化痰； 下氣消痰	direct qi downward to	下氣消痰		降氣薬および化痰薬を併用して、気滞による痰の逆流を治療する方法。
4.2.133		downbear counterflow to suppress cough and to calm	降逆止咳平喘		咳嗽および呼吸困難を伴う肺気の逆流を治療する方法。
4.2.134		promote qi absorption to calm panting	納氣平喘		腎不納気による呼吸困難の治療法。
4.2.135		eliminate phlegm and soften hardness	消痰軟堅		痰濁蓄積による硬い結節の治療法。
4.2.136		soften hardness and resolve phlegm	軟堅化痰		硬い痰の塊の治療法。
4.2.137		clear dryness to moisten the lung	清燥潤肺		燥熱傷肺の治療法。
4.2.138		moisten the lung to suppress	潤肺止咳		養陰および肺加湿薬を用いて、肺燥による咳嗽を治療する方法。
4.2.139		constrain the lung to suppress	斂肺止咳		収斂薬を用いて、肺虚による持続性の乾性咳嗽を治療する方法。
4.2.140		purge the lung to calm panting	瀉肺平喘		肺の病邪蓄積による呼吸困難を治療する方法。
4.2.141		warming method	温法		治療八法の1つ。温化薬を用いて寒証を治療すること。
4.2.142		warm	温補		温補薬を用いて、虚寒状態を治療する方法。
4.2.143	温裏散寒； 温裏祛寒	warm the interior to dissipate cold	温裏散寒		裏寒証の治療法。
4.2.143	温裏散寒； 温裏祛寒	warm the interior to dissipate cold	温裏祛寒		裏寒証の治療法。
4.2.144		warm the interior	温裏		裏寒証の治療法の一般用語。
4.2.145		warm the spleen	温脾		温陽薬を用いて脾の寒証を治療する方法。
4.2.146		warm the	温胃		温または熱の性質を持つ薬剤を用いて胃の寒証を治療する方法。
4.2.147		warm the middle	温中		温補薬を用いて脾および胃の陽虚を治療する方法。
4.2.148	温中散寒； 温中祛寒	warm the middle and dissipate	温中散寒		温補薬を用いて寒を消散、中焦を調和させて、脾および胃の陽虚を治療する方法。
4.2.148	温中散寒； 温中祛寒	warm the middle and dissipate cold	温中祛寒		温補薬を用いて寒を消散、中焦を調和させ、脾および胃の陽虚を治療する方法。
4.2.149		warm the middle to harmonize the stomach	温中和胃		中焦温化、寒消散薬を用いて、胃の寒鬱滞を治療する方法。
4.2.150		warm the middle to check	温中止嘔		中焦を温め、嘔吐を止める治療法。
4.2.151		warm the lung	温肺		温化薬を用いて肺の寒証を治療する方法。
4.2.152		warm the lung and dissipate	温肺散寒		温補薬を用いて肺の虚寒を治療する方法。
4.2.153	温腎；温腎 陽	warm the kidney	温腎		温補薬を用いて、腎陽を活気付ける治療法
4.2.153	温腎；温腎 陽	warm the kidney	温腎陽		温補薬を用いて、腎陽を活気付ける治療法
4.2.154		warm yang	温陽		陽気を温化し通す治療法。
4.2.155		warm yang to move water	温陽行水		温陽薬と利尿薬を用いて、脾腎陽虚による水停を治療する方法。
4.2.156		warm the uterus	暖宮		寒凝胞宮の治療法。
4.2.157		warm the	温經		温化して経絡を通す治療法。
4.2.158		warm the meridian to	温經止痛		経絡における寒邪の鬱滞による疼痛を緩和する治療法。
4.2.159		warm the meridian to	温經散寒		温陽、寒消散、経脈開通薬を用いて、経絡の寒凝証を治療する方法。
4.2.160	温經回陽； 温經扶陽	warm the meridian to	温經回陽		経絡の陽気を温め強めることで、切迫した虚脱を治療する方法。
4.2.160	温經回陽； 温經扶陽	warm the meridian to restore yang	温經扶陽		経絡の陽気を温め強めることで、切迫した虚脱を治療する方法。
4.2.161	回陽救逆； 回陽	restore yang to save from collapse	回陽救逆		温または熱の性質を持つ薬剤を大量に使用して、患者が虚脱するのを防ぐ治療法。扶陽と同義。

4.2.161	回陽救逆; 回陽	restore yang to save from collapse	回陽		温または熱の性質を持つ薬剤を大量に使用して、患者が虚脱するのを防ぐ治療法。扶陽と同義。
4.2.162		warm the meridian to move stagnation	温經行滯		正経温化薬および活血化癥薬を用いて、寒凝血瘀証を治療する方法。
4.2.163		warm the meridian to diffuse impediment and move qi to soothe the middle	温經養血		正経温化薬および補血薬を用いて、血虚寒凝証を治療する方法。
4.2.164		move qi to soothe the middle	宣痹通陽		胸痹の治療で、障害を除去し、陽気の流れを正常化する治療法。
4.2.165		move qi to relieve pain	行氣寬中		気の流れを促進し、脾臓および胃の痞えを軽減する治療法。
4.2.166		move qi to soothe the chest	行氣止痛		気の流れを促進し、気機鬱滯による疼痛を緩和する治療法。
4.2.167		regulate qi and fortify the spleen	行氣寬胸		気の流れを促進することで胸の痞えを緩和する治療法。
4.2.168		soothe the liver and regulate qi	理氣健脾		行気、鬱滯緩和薬と、益気活脾薬を併用して、脾失健運を治療する方法。
4.2.169		soothe the liver and nourish the blood	疏肝理氣		肝気を調節し、鬱滯を緩和し、肝気滯証を治療する方法。
4.2.170		soothe the liver and purge fire	疏肝養血		疏肝薬と補血薬を併用し、血虚を伴う肝気滯を治療する方法。
4.2.171		soothe the liver and fortify the spleen	疏肝瀉火		肝鬱化火証の治療法。
4.2.172		soothe the liver and regulate the spleen	疏肝健脾		肝気を調節し、脾気を強め、肝臓と脾臓を調和させて、肝気犯脾証および肝脾不和証を治療する方法。
4.2.173		soothe the liver and harmonize the stomach	疏肝理脾		肝と脾の活性を調節し、正常な協調性を回復させ、脾虚を伴う肝臓鬱滯を治療する方法。
4.2.174		soothe the liver	疏肝和胃		肝と胃の活性を調節し、肝胃気滯および肝胃不和を治療する方法。
4.2.175		direct qi downward	疏肝		肝気鬱結の正常な機能を回復させる治療法。
4.2.176	降逆下氣; 降氣; 下氣	direct qi downward	降逆下氣		咳嗽、喘息、吃逆または嘔吐として現れる、肺と胃の気の上向きの逆流を治療する方法。
4.2.176	降逆下氣; 降氣; 下氣	direct qi downward	降氣		咳嗽、喘息、吃逆または嘔吐として現れる、肺と胃の気の上向きの逆流を治療する方法。
4.2.176	降逆下氣; 降氣; 下氣	direct qi downward	下氣		咳嗽、喘息、吃逆または嘔吐として現れる、肺と胃の気の上向きの逆流を治療する方法。
4.2.177	降氣止呃; 降逆止呃	direct qi downward to	降氣止呃		吃逆の治療法。
4.2.177	降氣止呃; 降逆止呃	direct qi downward to	降逆止呃		吃逆の治療法。
4.2.178		break qi	破氣		作用が強烈な薬剤を用いて気鬱滯を緩和する治療法。
4.2.179		cool the blood to stop bleeding	涼血止血		涼血止血薬を用いて血中の熱邪による出血を治療する方法。
4.2.180		cool the blood and dissipate	涼血散瘀		血熱血瘀の治療法。
4.2.181		strengthen thoroughfare vessel to stop bleeding	固衝止血		衝脈および任脈を収斂させ、異常な子宮出血や過剰な経血を治療する方法。
4.2.182		activate blood	活血		血瘀の治療において血流を促進することの一般用語。
4.2.183		activate blood to relieve pain	活血止痛		血瘀による有痛状態の治療法。
4.2.184		activate blood and resolve stasis	活血化癥		血瘀の治療に適用される、活血化癥効果のあるさまざまな治療法の一般用語。
4.2.185		activate blood and move qi	活血行氣		血瘀気滯の治療法。
4.2.186		activate blood to regulate menstruation	活血調經		血液を活性化させ、鬱滯を除去し、月経を調節して、血瘀による月経不順を治療する方法。
4.2.187		regulate menstruation	調經		月経不順の治療に用いられる方法。
4.2.188		unblock the meridian	通經		経絡の閉塞を除去する方法。
4.2.189		dissipate (blood) stasis	散瘀		血瘀の治療において鬱血を除去することの一般用語。

4.2.190	破血逐瘀； 破瘀；逐瘀	break blood and expel stasis	破血逐瘀		作用が強烈な活血薬を用いて、完全な正気を伴う血瘀の重症例を治療する方法。
4.2.190	破血逐瘀； 破瘀；逐瘀	break blood and expel stasis	破瘀		作用が強烈な活血薬を用いて、完全な正気を伴う血瘀の重症例を治療する方法。
4.2.190	破血逐瘀； 破瘀；逐瘀	break blood and expel stasis	逐瘀		作用が強烈な活血薬を用いて、完全な正気を伴う血瘀の重症例を治療する方法。
4.2.191		relax sinews and activate	舒筋活絡		筋収縮を伴う経絡脈の気の遮断に対する治療法。
4.2.191		relax sinews and activate	舒筋和絡		筋収縮を伴う経絡脈の気の遮断に対する治療法。。
4.2.192		free the collateral vessels	通絡		絡脈の閉塞を緩和する方法。
4.2.193		dispel wind to free the collateral vessels	祛風通絡		絡脈の循環を妨害している風湿によるしびれ、麻痺、または筋痙縮の治療法
4.2.194		subdue yang	潜陽		重鈹物および貝殻類を投与することで肝陽上亢を治療する方法。
4.2.195		pacify the liver to subdue yang	平肝潜陽		補陰養血薬および重鈹物と貝殻類を用いて肝陽上亢を治療する方法。
4.2.196		extinguish wind	熄風		熄風薬を用いて内風証を緩和する治療法。
4.2.197	熄風止癱； 熄風解癱	extinguish wind to arrest	熄風止癱		熄風薬を投与して、癱攣を伴う内風証を緩和する治療法。
4.2.197	熄風止癱； 熄風解癱	extinguish wind to arrest	熄風解癱		熄風薬を投与して、癱攣を伴う内風証を緩和する治療法。
4.2.198		cool the liver to extinguish wind	涼肝熄風		肝から火邪を解除して清瀉し、肝風を鎮め消滅させる治療法。
4.2.199		nourish yin to extinguish wind	滋陰熄風		陰津を補充して、陰虛動風を治療する方法。
4.2.200		clear heat to extinguish wind	清熱熄風		熱性疾患の後期に、陰津の重度損傷による内風を治療する方法。
4.2.201		calm the liver to extinguish wind	鎮肝熄風		肝の活動亢進による内風の治療法。
4.2.202		tonifying method	補法		補薬を用いて正気を回復させる方法の一般用語。治療八法の1つで、補益法とも呼ばれる。
4.2.203	補氣；益氣	tonify qi	補氣		補氣薬を用いて気虚を治療する方法。益氣と同義。
4.2.203	補氣；益氣	tonify qi	益氣		補氣薬を用いて気虚を治療する方法。補氣と同義。
4.2.204		greatly tonify the original qi	大補元氣		強力な補氣薬を用いて、脈がほとんど触れない重度の気虚を治療する方法。
4.2.205		tonify qi and invigorate yang	補氣壯陽		特に心臓および腎に關係する陽氣虚の治療法。
4.2.206		tonify qi and engender blood	補氣生血		主として気虚による気と血の欠乏を治療する方法。
4.2.207		tonify qi and replenish blood	補益氣血		補氣補血薬を用いて気と血の欠乏を治療する方法。
4.2.208	升提中氣； 升舉中氣； 升陽・升提	upraise the middle qi	升提中氣		昇提作用を有する補氣薬を用いて中氣下陷を治療する方法。
4.2.208	升提中氣； 升舉中氣； 升陽・升提	upraise the middle qi	升舉中氣		昇提作用を有する補氣薬を用いて中氣下陷を治療する方法。
4.2.208	升提中氣； 升舉中氣； 升陽・升提	upraise the middle qi	升陽		昇提作用を有する補氣薬を用いて中氣下陷を治療する方法。
4.2.208	升提中氣； 升舉中氣； 升陽・升提	upraise the middle qi	升提		昇提作用を有する補氣薬を用いて中氣下陷を治療する方法。
4.2.209		tonify yang	補陽		補薬により陽虚を治療する方法の一般用語。
4.2.210		invigorate yang	壯陽		温補薬により体の陽氣を強める治療法。
4.2.211		warm and tonify the life gate	温補命門		温陽補腎薬を用いて腎陽虚を治療する方法。
4.2.212		tonify and replenish the middle qi	補益中氣		氣を強め、脾臟を強化し、胃を補充して、中氣下陷を伴う脾臟と胃の気虚を治療する方法。
4.2.213		tonify blood	補血；養血		補血薬を用いて血虚を治療する方法。養血と同義。
4.2.214	補養心血； 養心	tonify and nourish heart	補養心血		補血養心薬を用いて、心血虚を治療する方法。養心と同義。
4.2.214	補養心血； 養心	tonify and nourish heart	養心		補血養心薬を用いて、心血虚を治療する方法。補養心血と同義
4.2.215		tonify the spleen	補脾		補脾薬を用いて、脾の機能活性低下を治療する方法。

4.2.216		fortify the spleen	健脾	脾の輸送および変換機能を活気付ける治療法。
4.2.217		fortify the spleen and replenish qi	健脾益氣	補脾益氣薬を用いて、脾気虚を治療する方法。
4.2.218		fortify the spleen and nourish	健脾養血	血液消耗を伴う脾虚証の治療法。
4.2.219		fortify the spleen and support yang	健脾扶陽	健脾補陽薬を用いて脾陽虚を治療する方法。
4.2.220		fortify the spleen and drain dampness	健脾利湿	補脾利尿薬を用いて、湿邪鬱滞を伴う脾虚または湿困脾を治療する方法。
4.2.221		fortify the spleen to sweep phlegm	健脾豁痰	補気薬を用いて脾を強め、痰湿証を治療する方法。
4.2.222		invigorate the stomach	健胃	胃の機能を活気付け、消化を促進する治療法。
4.2.223		increase the appetite	開胃	食欲を刺激する治療法。
4.2.224		warm and tonify the spleen and stomach	温補脾胃	脾胃陽虚証の治療法。
4.2.225	補火助陽； 補腎火	tonify fire and assist yang	補火助陽	温陽補腎薬を用いて腎陽虚を治療する方法。補腎火と同義。
4.2.225	補火助陽； 補腎火	tonify fire and assist yang	補腎火	温陽補腎薬を用いて腎陽虚を治療する方法。補火助陽と同義。
4.2.226	柔肝；養肝	emolliate the	柔肝	肝活血補陰薬を用いて、肝陰虚または肝血虚を治療する方法。
4.2.226	柔肝；養肝	emolliate the	養肝	肝活血補陰薬を用いて、肝陰虚または肝血虚を治療する方法。
4.2.227		enrich yin	滋陰	陰液を補充する薬剤を用いて陰虚を治療する方法。
4.2.228		enrich yin and tonify yang	滋陰補陽	陰陽両虚の治療法。
4.2.229		enrich yin and subdue yang	滋陰潛陽	養陰薬および強い重鎮薬を用いて、陰虚陽亢または虚陽上浮を治療する方法。
4.2.230		enrich yin to repress yang	滋陰抑陽	陰液を補充し、盛んな陽気を抑え、陰虚陽盛を治療する方法。
4.2.231	補心陰；養心陰	tonify the heart yin	補心陰	補心陰薬を用いて心陰虚を治療する方法。nourish the heart yinと同義。
4.2.231	補心陰；養心陰	tonify the heart yin	養心陰	補心陰薬を用いて心陰虚を治療する方法。nourish the heart yinと同義。
4.2.232	補肝陰；養肝陰	tonify the liver yin	補肝陰	補肝陰薬を用いて、肝陰虚を治療する方法。nourish the liver yinと同義。
4.2.232	補肝陰；養肝陰	tonify the liver yin	養肝陰	補肝陰薬を用いて、肝陰虚を治療する方法。nourish the liver yinと同義。
4.2.233		tonify the lung	補肺	補薬を用いて肺虚証を治療する方法の一般用語。
4.2.234	補肺陰；養肺陰	tonify the lung yin	補肺陰	肺陰虚の治療法。養肺陰と同義。
4.2.234	補肺陰；養肺陰	tonify the lung yin	養肺陰	肺陰虚の治療法。補肺陰と同義。
4.2.235		moisten the lung	潤肺	化湿薬を用いて肺燥証を治療する方法。
4.2.236		engender fluid	生津	補陰薬を用いて津傷を治療する方法。
4.2.237		tonify the kidney	補腎	補薬を用いた腎虚証の治療法の一般用語。
4.2.238	補腎陰；滋腎陰	tonify the kidney yin	補腎陰	腎補陰薬を用いた腎陰虚の治療法。滋腎陰と同義。
4.2.238	補腎陰；滋腎陰	tonify the kidney yin	滋腎陰	腎補陰薬を用いた腎陰虚の治療法。補腎陰と同義。
4.2.239	養胃陰；補胃陰；養胃	nourish the stomach yin	養胃陰	胃陰虚証の治療法。補胃陰および養胃と同義。
4.2.239	養胃陰；補胃陰；養胃	nourish the stomach yin	補胃陰	胃陰虚証の治療法。養胃陰および養胃と同義。
4.2.239	養胃陰；補胃陰；養胃	nourish the stomach yin	養胃	胃陰虚証の治療法。養胃陰および補胃陰と同義。
4.2.240		tonify the kidney and replenish qi	補腎益氣	腎気虚証の治療法。
4.2.241		enrich the kidney and replenish yin	滋腎益陰	腎陰虚証の治療法。
4.2.242		enrich the kidney and nourish the liver	滋腎養肝	腎肝陰虚証の治療法。
4.2.243		warm the kidney and fortify the spleen	温腎健脾	温裏補陽薬を用いて脾腎陽虚を治療する方法。
4.2.244		regulate the liver and supplement the kidney	調肝補腎	肝陽上亢を伴う肝腎陰虚の治療法。
4.2.245		nourish the blood and emolliate the liver	養血柔肝	補血および平肝熄風薬を用いて風化風を伴う肝血虚を治療する方法。
4.2.246		enrich water to moisten wood	滋水涵木	腎陰(水に関係する)を補充することで肝陰虚(木に関係する)を治療する方法。

4.2.247		form yin with the sour and sweet	酸甘化陰		酸っぱい薬剤と甘い薬剤を併用して陰血を補充する治療法。
4.2.248		form yang with the pungent and	辛甘化陽		辛い薬剤と甘い薬剤を併用して、陽気を強化する治療法。
4.2.249	引火歸原; 引火下行	conduct fire back to its origin	引火歸原		虚火の上浮に対する治療原則。腎補陰薬に腎補陽薬を追加し、上浮した虚火を腎臓に帰させる。引火下行と同義。
4.2.249	引火歸原; 引火下行	conduct fire back to its origin	引火下行		虚火の上浮に対する治療原則。腎補陰薬に腎補陽薬を追加し、上浮した虚火を腎臓に帰させる。引火歸原と同義。
4.2.250		warm the kidney to promote qi absorption	温腎納氣		肺からの腎不納氣の治療法。
4.2.251		securing and astringing	固澀法		止血または収斂薬を用いて、自汗、射精、慢性下痢、または出血を治療する方法の一般用語。
4.2.252		astringe the intestines and check diarrhea	澀腸止瀉		収斂薬を用いた慢性下痢の治療法。
4.2.253		secure essence	固精		補腎収斂薬を用いて腎消耗による遺精・滑精を治療する方法。
4.2.254		secure essence and reduce urination	固精縮尿		腎気不固および膀胱失約による射精、精液漏、遺尿また尿失禁の治療法。
4.2.255		stem flooding and check vaginal discharge	固崩止帯		収斂薬を用いて異常な子宮出血または過剰な帯下を治療する方法。
4.2.256		secure the thoroughfare vessel and stanch vaginal discharge	固衝止帯		衝任不固を伴う腎機能不全による大量の帯下を治療する方法。
4.2.257		secure the exterior to check	固表		表虚および不固の治療法。
4.2.258	固表止汗; 斂汗固表	secure the exterior to check	固表止汗		自汗を伴う衛気虚の治療法。
4.2.258	固表止汗; 斂汗固表	secure the exterior to check	斂汗固表		自汗を伴う衛気虚の治療法。
4.2.259		tranquelize	安神		静穏にさせる方法の一般用語。
4.2.260		nourish the heart to tranquilize	養心安神		補陰血薬を用いて、不安な心神による心悸亢進、不眠症、夢に妨げられる睡眠および健忘を治療する方法。
4.2.261		settle fright and tranquilize	鎮驚安神		鎮静薬を用いて、驚きによる精神的不安を緩和する治療法。
4.2.262	重鎮安神; 鎮靜安神	tranquelize by heavy settling	重鎮安神		重鎮物および貝殻類を用いて不眠および精神的興奮を治療する方法。
4.2.262	重鎮安神; 鎮靜安神	tranquelize by heavy settling	鎮靜安神		重鎮物および貝殻類を用いて不眠および精神的興奮を治療する方法。
4.2.263	開竅; 醒腦	open the orifices	開竅		意識を回復させる全ての治療法。
4.2.263	開竅; 醒腦	open the orifices	醒腦		意識を回復させる全ての治療法。
4.2.264		clear the heart and open the orifices	清心開竅		清熱瀉火および開竅薬を用いて、熱陷心包の患者の意識を回復させる治療法。
4.2.265		clear heat to open the orifices	清熱開竅		急性熱性疾患の場合に、意識障害を治療する方法。
4.2.266		resolve phlegm to open the orifices	化痰開竅		化痰薬を用いて、痰厥および痰濁内蒙心包を治療する方法。
4.2.267		open the orifices with aroma	芳香開竅		芳香薬を用いた、意識喪失の緊急治療。
4.2.268		promote	消食		食物鬱滞の治療の一般用語。
4.2.269		promote digestion and remove food	消食導滯		消化薬および潤下薬を用いて、不適当な食事および過食による消化不良を治療する方法。
4.2.270		disperse abscesses and nodules	消癰散結		化膿する前に膿瘍および結節を解消する治療法。
4.2.271		disperse abscesses and boils	消癰散癰		化膿する前に膿瘍および癰を解消する治療法。
4.2.272		dissolve fish bones	消骨鯁		喉や食道に刺さった魚の骨を除去する治療法。
4.2.273	退翳明目; 退目翳	remove nebula and improve	退翳明目		不明瞭さを取り除き、視覚を改善する治療法。角膜白濁の治療に用いられる。
4.2.273	退翳明目; 退目翳	remove nebula and improve	退目翳		不明瞭さを取り除き、視覚を改善する治療法。角膜白濁の治療に用いられる。
4.2.274		improve vision	明目		視覚障害を改善する全ての治療法。

4.2.275		unblock yang	通陽		寒湿阻滯または痰凝および停滯閉塞による陽気不通の解消に用いられる治療法。
4.2.276		unblock yang to dissipate binds	通陽散結		陽虚および寒凝による腫瘍を消散させる治療法。
4.2.277	塞流, 澄源, 復舊	arrest of bleeding, clarification of cause and	塞流		婦人科学における大量出血および少量出血の3つの治療法。
4.2.277	塞流, 澄源, 復舊	arrest of bleeding, clarification of cause and	澄源		婦人科学における大量出血および少量出血の3つの治療法。
4.2.277	塞流, 澄源, 復舊	arrest of bleeding, clarification of cause and	復舊		婦人科学における大量出血および少量出血の3つの治療法。
4.2.278		resolve accumulation	化積		消化薬および瀉下薬を用いて食積証を治療する方法。
4.2.279		prevent abortion	安胎		切迫流産および習慣流産の予防および治療法
4.2.280		promote lactation	下乳		出産後の母乳の流れを促進する治療法。
4.2.281	断乳; 回乳	terminate	断乳		母乳の流れを止める治療法。
4.2.281	断乳; 回乳	terminate	回乳		母乳の流れを止める治療法。
4.2.282		expel worms	驅蟲		腸内寄生虫を排除する治療法。
4.2.283		kill worms	殺蟲		腸内寄生虫を駆除する治療法。
4.2.284		quiet ascaris	安蛔		回虫症の治療法。通常、回虫による腹痛や胆道仙痛を緩和する。
4.2.285		quiet ascaris to relieve pain	安蛔定痛		腸回虫症や胆道回虫症による腹痛の治療法。
4.2.286		expel pus	排膿		排膿を促進する治療法。
4.2.287		dispel stasis to promote regeneration	祛瘀生新		血液再生を促進することで血を活性化させ、鬱滯を除去する治療法で、血虚を併発した血瘀の治療に用いる。
4.2.288		promote tissue regeneration and close wound	生肌收口		解毒薬および収斂薬を用いて、新しい組織の増殖を促進することで創傷を治療する方法。
4.2.289		conduct blood downward	引血下行		血流の急増の治療法。
4.2.290		soften hardness and dissipate binds	軟堅散結		行気、活血、去痰薬を用いて、痰濁または鬱血により形成された塊を治療する方法。
4.2.291		repel foulness	辟穢		芳香薬を用いて、穢濁による疾患を治療する方法。
4.2.292		relax tension	緩急		痙攣、萎縮または過緊張を緩和する治療法。
4.2.293		expel toxin	托毒		癰およびただれの治療において、毒素を排除する治療法。
4.2.294		expel pus of	托瘡		癰、ただれおよび膿瘍の治療において、膿を排除する治療法。
4.2.295		expel from within	内托		疫毒の内部への侵入を予防するため、補薬および排膿薬を用いて、正気を維持させ、膿の流出を促進する治療法。
4.2.296		constrain spittle	攝唾		過剰な唾液の分泌を阻止する治療法
4.2.297		interrupt malaria	截瘧		マラリアの治療法で、その到達を予防するために、エピソード発現前に適用される。
4.2.298		detoxify and kill worms	解毒殺蟲		疥癬の治療において、毒性を除去し、ダニなどの寄生虫を駆除する治療法。
4.2.299		relieve itching	止癢		止痒性の効果を有する全ての治療法。
4.2.300		dry dampness to relieve itching	燥濕止癢		滲出物を除去し、かゆみを軽減する治療法。湿疹の治療に使われる。
4.2.301		disperse swelling	消腫		腫脹消退を起こさせるかまたは腫脹の鎮静化を促進する治療法。
4.2.302		draw out toxin	拔毒		炎症性病変から毒素を除去する治療法。
4.2.303		draw out pus and toxin	提膿拔毒		膿毒証の治療において、膿の排出を促進し、毒素を除去する治療法。
4.2.304		draw out pus and dispel putridity	提膿祛腐		皮膚内部にあるただれの治療において、膿の排出を促進し、腐敗物を除去する治療法。
4.2.305	化腐; 去腐肉	resolve putridity	化腐		腐食薬を用いて、外部の疾患、特に創傷およびただれを治療する方法。
4.2.305	化腐; 去腐肉	resolve putridity	去腐肉		腐食薬を用いて、外部の疾患、特に創傷およびただれを治療する方法。
4.2.306		heal wounds and eliminate	蝕瘡去腐		創傷およびただれの治療において、腐敗物を除去する治療法。
4.2.307		promote tissue regeneration and wound healing	生肌斂瘡		体表の創傷または潰瘍の治癒を促進する治療法。
4.2.308		promote suppuration to regenerate flesh	煨膿長肉		排膿薬やその他の治療を用いて、肉芽組織の増殖および創傷治癒を促進する治療法。
4.2.309		outthrust the pathogen	透邪		病邪を体外に出す治療法。通常、表証の治療に用いられる。
4.2.310		promote rupture	潰堅		破裂を促進することで膿瘍を治療する方法。

4.2.311		blacken the beard and hair	烏鬚髮		毛髪および髭の若白髪を治療する方法。
4.2.312	膏薬療法; 薬膏療法; 薄貼療法	plaster therapy	膏薬療法		疾患部位または関連部位に膏薬を適用し、局所または全身疾患を治療する方法。
4.2.312	膏薬療法; 薬膏療法; 薄貼療法	plaster therapy	薬膏療法		疾患部位または関連部位に膏薬を適用し、局所または全身疾患を治療する方法。
4.2.312	膏薬療法; 薬膏療法; 薄貼療法	plaster therapy	薄貼療法		疾患部位または関連部位に膏薬を適用し、局所または全身疾患を治療する方法。
4.2.313		medicated wine therapy	薬酒療法		薬剤を穀物発酵酒や蒸留酒に浸して作製した薬用発酵酒や薬用蒸留酒を摂取することで治療する方法。
4.2.314		fumigation	熏法		薬剤と熱の作用の両方を利用する治療法で、腠理を開き、氣と血の流れを促進して腫脹を低減し、疼痛を軽減し、風邪を消散させ、かゆみを緩和する。
4.2.315		hot medicinal compress	熨法		布に包んだ熱い薬剤で、疾患部位を押し、こする治療法。
4.2.316		cauterization	烙法		焼きごてを使用して、罹患組織を破壊すること。
4.2.317		suppository therapy	坐薬療法		直腸、尿道、または膣の開口部に、特殊な形状をした固形薬剤を挿入し、疾患(通常、肛門、直腸、下部結腸、尿道、子宮および膣の疾患)を治療する方法。
4.2.318		medicated thread therapy	藥捻療法		薬用の粉末を被覆したまたは包んだ、ねじった紙を罹患部位に挿入し、膿瘍、ただれ、流痰および瘻を治療する外用療法。
4.2.319		spine pinching	捏脊		背骨の両側の皮膚と筋肉を、同時につまんでもむ治療法。
4.2.320		ligation therapy	結紮療法		痔核、ポリープ、またはいぼを、その基部をひもで結び、末端部位を数日間で脱落させる外用療法。
4.2.321		fuming-washing therapy	熏洗療法		罹患部位を、沸騰させた煎剤の蒸気で煙り、その部位を煎剤で洗浄する治療法。
4.2.322	冲洗法; 冲洗療法	douche	冲洗法		罹患部位に薬剤液の蒸気をあてる外用の治療法。
4.2.322	冲洗法; 冲洗療法	douche	冲洗療法		罹患部位に薬剤液の蒸気をあてる外用の治療法。
4.2.323		insufflations	吹薬法		喉や口の内部に、治療目的で散剤を吹き付けること。
4.2.324		traction therapy	牽引療法		骨格または関節の疾患を、牽引力で治療すること。
4.2.325		therapeutic manipulation for sinew injury	理筋手法		負傷した軟部組織を回復させ治療するさまざまな手技の総称。
4.2.326	按摩; 推拿; 按蹻	massage	按摩		体の軟部組織と関節を、手でこすったり、もんだり、たたいたりすること。通常、1人が別の人に対して、特に緊張や疼痛を緩和すること。
4.2.326	按摩; 推拿; 按蹻	massage	推拿		体の軟部組織と関節を、手でこすったり、もんだり、たたいたりすること。特に緊張や疼痛を緩和するために、通常、1人が別の人に対しての軟部組織と関節を、手でこすったり、もんだり、たたいたりすること。
4.2.326	按摩; 推拿; 按蹻	massage	按蹻		体の軟部組織と関節を、手でこすったり、もんだり、たたいたりすること。特に緊張や疼痛を緩和するために、通常、1人が別の人に対しての軟部組織と関節を、手でこすったり、もんだり、たたいたりすること。
4.2.327		rotating manipulation	旋轉法		負傷した手足の遠位部を持ち、穏やかに回転させる手技。
4.2.328		twisting manipulation	搓法		負傷した手足を両手掌でお互い逆の方向にねじる手技。
4.2.329		rubbing manipulation	摩法		罹患部位を、指先の腹または手掌で、適度な力で頻りに、円形にこすること。
4.2.330		kneading manipulation	揉法		罹患部位を、親指の平坦部、母指球、または手掌の根本で、前後に、または円形に、圧迫して動かす手技。
4.2.331		pushing manipulation	推法		指または手掌で、力を入れて、前方、別々またはらせん状に、筋肉を押しして圧迫すること。
4.2.332		qi-concentrated single-finger pushing manipulation	一指禪推法		親指のみを用いて、揺れる動きで押す手技。
4.2.333		rolling manipulation	滾法		患者の体表面で、前後に連続的に手背を捻転させる手技。
4.2.334		scrubbing manipulation	擦法		皮膚を、指の平坦部、母指球または手掌で、高頻度に連続的に前後にこする手技。
4.2.335		shaking manipulation	抖法		施術者が、罹患した手足の遠位末端を持ち、外側に引っ張り、動かせる範囲内で上下に振る手技。
4.2.336		flicking manipulation	彈法		人差し指または中指の先の背で、親指に対してはじいて、罹患部位をたたく手技。
4.2.337		sinew-flicking manipulation	彈筋法		腱または筋肉を繰り返して引っ張り上げ、すぐに放す手技。
4.2.338		pressing manipulation	按法		体表に垂直な方向に、絶え間なく押す手技。
4.2.339		grasping manipulation	拿法		施術者の片手または両手の親指と人差し指と中指、または親指と残りの4本の指で、罹患した筋肉を持ち上げて圧迫する手技。
4.2.340		pinching manipulation	捏法		親指と人差し指と中指、または親指と残りの4本の指で軟部組織を持ち上げ、圧迫して前に押す手技。
4.2.341		treading manipulation	踩蹻法		罹患部位を踏み、還納させる手技。例、突き出した椎間板を還納するために背中を踏む。

4.2.342		pulling manipulation	扳法		関節の近位末端および遠位末端を持ち、力を入れて逆方向または同じ方向に瞬間的に引っ張り、関節をのばすまたは回す手技。
4.2.343		rocking manipulation	搖法		関節から近位の足の一部を片方の手で持ち、関節から遠位の一部をもう片方の手で持ち、関節を左右に穏やかに回す手技。
4.2.344		back-packing manipulation	背法		背中合わせで立ち、患者を施術者の背中に乗せて、突き出した椎間板を還納する手技。
4.2.345		massage technique before/after tapping	揉捻法		施術者が母指球の隆起、手掌の根もと、または指の腹側を使って、穿刺の前後に、穏やかな円形の動きで患者の体の特定の部位または点をこするまたは圧迫する手技。
4.2.346		tapping	叩打法		そろえた指の先端で軽くたたくことにより行う手技。
4.2.347		finger pressure	指壓		鍼を打つのではなく、経穴を指や親指で押すことにより行う手技。指圧としても知られる。
5.0.0		ACUPUNCTURE AND MOXIBUSTION	鍼灸(學)		
5.1.0		acupuncture	鍼; 鍼法		治療を目的として鍼を人または動物に刺入すること、またはその方
5.1.1		acupuncture and moxibustion	鍼灸; 鍼灸學		(1) 鍼療法および灸療法の総称(2) 気、血、および内臓機能の調節による疾治療における、経絡の理論、位置、用途、適用、経穴の組み合わせ、鍼療法および点火したもぐさの適用を主とした、伝統的
5.1.2		needling and moxibustion method	刺灸法		鍼療法および灸療法の総称。
5.1.3		fire needling	火鍼		赤く焼いた鍼で罹患部位を速やかに刺す鍼療法。
5.1.4	溫鍼; 溫鍼灸	warm needling	溫鍼		(1) 鍼刺入後に、点火した艾條を鍼柄に当てる手技。(2) 鍼刺入前または鍼刺入中に鍼を温める鍼療法。溫鍼灸と同義。
5.1.4	溫鍼; 溫鍼灸	warm needling	溫鍼灸		(1) 鍼刺入後に、点火した艾條を鍼柄に当てる手技。(2) 鍼刺入前または鍼刺入中に鍼を温める鍼療法。溫鍼と同義。
5.1.5		nine classical needles	九鍼		「靈樞」に記載されている9種類の鍼の総称。毫鍼、鑱鍼、圓鍼、鍔鍼、鋒鍼、員利鍼、鈹鍼、長鍼および大鍼。
5.1.6		filiiform needle	毫鍼		さまざまな長さの細い鍼の一種。現在鍼療法を施行する際に最もよく使われている。
5.1.7		shear needle	鑱鍼		鍼尖がとがった、矢じりに似た刺すための器具。chisel needleやsagittal needleと同義。
5.1.8		round-pointed needle	圓鍼		1.6寸の長さの鍼体を持ち、鍼尖が卵状になった、筒状の器具。体表のマッサージに利用される。rounded needleと同義。
5.1.9		spoon needle	鍔鍼		太い鍼体と、少し鋭い丸い鍼尖を持つ器具。経絡を圧迫するために用いられる。
5.1.10		lance needle	鋒鍼		三稜鍼の別名。lancing needleと同義。
5.1.11		round-sharp needle	員利鍼		鍼体が細く、幾分太くて鋭い丸い鍼尖を持つ鍼。sharp round needleと同義。
5.1.12		stiletto needle	鈹鍼		両刃の剣に似た器具。排膿に用いられる。sword needleと同義。
5.1.13		long needle	長鍼		九鍼の1つ。長さ7寸で、深い穿刺に用いられる。
5.1.14		big needle	大鍼		長くて太い鍼体と、幾分丸い鍼尖を持つ鍼。large needleと同義。
5.1.15		great needle	巨鍼		毫鍼に似ているが、太くて長く、片麻痺および麻痺の治療に用いら
5.1.16		stone needle	砭石		古代、鍼療法および手術の切開で原始的な器具として使われていた、石でできた鍼。
5.1.17		stone needle therapy	砭刺療法		砭石を用いた古代の疾患治療。
5.1.18		filiiform needle therapy	毫鍼療法		毫鍼を用いた鍼療法。
5.1.19		tip of the needle	鍼尖		鍼の鋭い先端のこと。
5.1.20		handle of the needle	鍼柄		鍼の一部で、鍼尖および鍼体より末端部の、手で持つ部分。
5.1.21		shaft of the	鍼體		鍼の一部で、鍼柄と鍼尖の間の部分。
5.1.22		root of the needle	鍼根		鍼柄と鍼体との境目。
5.1.23		plum-blossom needle	梅花鍼		5本の短い植え込まれた鍼の束がついた皮膚用の鍼器具。梅の花に似ている。
5.1.24		plum-blossom needle therapy	梅花鍼療法		梅花鍼で軽く叩く治療法。
5.1.25		seven-star needle	七星鍼		鍼柄の末端に7本の短い鍼がまとめて取り付けられている皮膚用の鍼器具。
5.1.26		three-edged	三稜鍼		鋭い3本の刃のある鍼尖を持つ太い鍼。
5.1.27		three-edged needle therapy	三稜鍼療法		疾患を治癒させるための三稜鍼を用いたさまざまな治療法
5.1.28		thumbtack needle	揲鍼		画鋲に似た皮内鍼。
5.1.29		intradermal	皮内鍼		皮膚に固定する小さな鍼器具
5.1.30		intradermal needle therapy	皮内鍼療法		特定の経穴に長期間鍼を固定する治療法。
5.1.31		dermal needle	皮膚鍼		複数の短い鍼で構成される鍼器具。経穴を軽く叩くために用いら
5.1.32		dermal needle therapy	皮膚鍼療法		経穴を皮膚鍼で軽く叩く治療法。
5.1.33		roller needle	滾刺筒		皮膚鍼用にデザインされた金属製のローラー。
5.1.34		silver needle	銀鍼		銀製の鍼。
5.1.35		stainless steel needle	不銹鋼鍼		ステンレス鋼製の鍼。